

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m	
				地層名	層相						
	13.80	30.71		層 (To)	溶岩 (塊状)	暗緑灰	30.22m ・ 厚さ約1cmの固結した暗緑色の細粒物脈が認められる。 ・ コアでの見かけ傾斜は60°程度を示し、面の形状は凹凸している。			32	
32					火山角礫岩		30.71~40.00m ・ 弱い自破碎構造を持つ安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・ 基質と安山岩との境界は不規則な形状を呈し、不明瞭である。 ・ 基質の一部は変質により暗緑灰色を呈する。 ・ 安山岩は発泡している箇所が認められる。			34	
34							30.71~30.87m ・ 暗緑色の細粒物脈が複雑な形状で認められる。 ・ これらは固結・密着しており、軟質部は認められない。			36	
36							40.00~50.20m ・ 安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・ 基質と安山岩との境界は不規則な形状を呈し、不明瞭である。 ・ 基質の一部は変質により暗緑灰色を呈する。 ・ 安山岩は発泡している箇所が認められる。	暗緑灰			40
40							40.25~40.53m ・ 硬質な安山岩礫の隙間を埋める固結した緑色細粒物脈が認められる。	暗褐灰			42
42	3.63	42.45					42.45~45.95m ・ 弱い風化により基質が褐色味を帯びる。				44
44							45.95~48.30m ・ 基質が多く、変質による緑色化が認められる。 ・ 岩質は硬質である。	緑灰			46
46	0.60	45.95									48
48	-1.44	48.30									50
50	-3.08	50.20				泊層 (To)	火山角礫岩	暗緑灰			52
52						暗灰	50.20~59.00m ・ 安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・ 最大径1m程度の角礫状ないしは垂角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山質火山礫を含む。 ・ 基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。 ・ 火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。 ・ ほとんどの火山岩塊および火山礫は発泡していないが、一部に多孔質なものを含む。			54	
54							53.47~53.53m ・ 礫間を埋める固結した緑色細粒物脈が認められる。 ・ 上下端境界は不規則に凹凸している。			56	
56							59.00~60.00m ・ 斜長石斑晶に富む緻密な安山岩溶岩からなる。 59.44~59.51m ・ 密着した緑色細粒物脈。コアでの傾斜は約15°。			58	
58									60		
60	-10.71	59.00			安山岩溶岩 (塊状)					60	

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
62				安山岩溶岩 (塊状)		暗灰	60.00~66.50m ・斜長石斑晶に富む緻密な安山岩溶岩からなる。			62
64		60.65~61.35m ・厚さ3~10mmの緑色細粒物脈が認められる。 ・コアの長軸に沿って分布し、境界面は凹凸があり密着している。					64			
66	-17.20	66.50					63.25~64.00m ・やや自破碎状を呈し、礫間に複数の固結した緑色細粒物脈が認められる。			66
68				泊層 (To)  火山角礫岩		暗灰 (一部暗緑灰)	66.50~80.00m ・安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・最大径約60cmの角礫状ないしは亜角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山岩質火山礫を含む。 ・基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。 ・火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。			68
70		69.30~69.50m 70.45~70.52m□ ・礫状となった安山岩の隙間を充填して固結した緑色細粒物脈が分布する。これらの中には、溶脱とみられる空隙が存在する。					70			
72		75.42~75.80m ・発泡が顕著である。					72			
74		75.80~79.40m ・緻密な安山岩溶岩からなる。					74			
76	-24.93	75.42		泊  火山角礫岩		暗灰	80.00~100.00m ・安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・最大径約80cmの角礫状ないしは亜角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山岩質火山礫を含む。 ・基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。 ・火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。 ・全体的に発泡痕が認められ、多孔質である。			76
78		84.07~85.25m 87.16~87.89m ・長石斑晶に富む塊状の安山岩溶岩からなる。					78			
80							80			
82							82			
84							84			
86					86					
88					88					
90									90	

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
				層 (To)	片礫岩	灰				
92							91.85~93.90m ・発泡痕が顕著な多孔質安山岩溶岩からなる。 93.00~93.10m ・発泡痕が集中した部分が割れ目となり、一部に淡褐色の粒状鉱物が少量晶出している。			92
94							95.50~98.60m ・安山岩礫の輪郭が明瞭であり、基質が全体に少ない。 ・基質が溶脱し、小さな空隙が多数認められる。			94
96							98.60~99.14m ・塊状・緻密な安山岩礫からなる。 ・下部では径0.2~0.4cmの発泡痕が多い。			96
98							100.00~120.00m ・安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・最大径約30cmの角礫状ないしは亜角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山質火山礫を含む。 ・基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。 ・火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。 ・全体的に発泡痕が認めらる。			98
100							100.35~102.64m ・発泡痕が顕著で塊状な安山岩溶岩からなる。 ・長石斑晶はやや少ない。			100
102										102
104										104
106										106
108										108
110					泊層 (To)	火山角礫岩	暗灰	109m以深 ・基質と安山岩礫とが明瞭に認められ、礫の輪郭が明瞭となる。		
112										112
114							114.20~115.55m ・安山岩溶岩の角礫が密集し、基質が少ない。			114
116										116
118										118
120	63.53	120.00								120

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
122				泊層 (To)	火山角礫岩	暗灰	120.00~140.00m ・安山岩質な火山角礫岩からなる。 ・最大径約50cmの角礫状ないしは歪角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山質火山礫を含む。 ・基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。 ・火山岩塊および火山礫は斜長石に富み、その輪郭は明瞭である。 ・全体的に発泡痕が認めらる。		122	
124		124								
126		126								
128		128								
130		130								
132		132								
134		134								
136		136								
138		138								
140		140								
							121.30~121.60m (中心深度121.45m) ・熱水変質脈とみられる高角度な不連続面が認められる。 ・コアでの見かけ傾斜は約75°であり、不連続面の中心は厚さ0.2cm程度で酸化色を呈し、その周囲の厚さ5cm程度まで緑色に変質している。 ・軟質な断層破碎粒子のほか、せん断面や鏡肌は認められない。 ・直下の122m付近まで岩片状コアを呈し、岩片の面に残る基質にも変質が及んでいる。			
							124.20~125.70m ・基質の一部に酸化がみられ、褐色味を帯びる。			



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層 名	層 相						
				盛土 (fl)	砂礫	暗灰	0.00~1.52m ・ 碎石からなる。				
2	38.68 38.45	1.52 1.75		低位段丘堆積層 (Li)	シルト混り砂礫	黒褐	1.52~1.75m ・ 黒褐色の土壌からなる。 ・ 径2cm以下の安山岩の垂角礫を含む。 ・ 植物片を含む。				2
4	36.77	3.43		安山岩溶岩 (塊状)	灰	1.75~3.43m ・ 淘汰の悪いシルト混り砂礫からなる。 ・ 基質支持であり、締りが良い。 ・ 最大径10cmの多色性(灰~暗灰色、赤~黄褐色)の安山岩の亜円~垂角礫を含む。 ・ 下位の泊層との不整合境界は概ね水平である。	5/23 朝 5.00m ▽			4	
6										3.43~10.05m ・ 塊状・緻密な安山岩溶岩からなる。 ・ 最下部約1m区間は発泡痕が認められる。	
10	30.15 29.25	10.05 10.95		泊層 (To)	火山 碎屑岩	暗灰	10.05~10.95m ・ 円礫状の安山岩を含む火山碎屑岩からなる。 ・ 斑晶の少ない塊状・緻密な異質安山岩の円礫を含む。 ・ 円礫の最大径は約20cmである。			10	
12										10.95~20.00m ・ 発泡痕が顕著な多孔質安山岩溶岩からなる。 ・ 斜長石斑晶に富む。 ・ 一部発泡度の低い区間を含むが、全体的に多孔質である。 ・ 全体的に弱く酸化し、やや紫味を帯びる。 ・ 割れ目沿いの一部は黄緑色に変質する。 ・ 一部の発泡痕に緑色粘土鉱物が充填する。	
14				安山岩溶岩 (多孔質)	暗灰	11.27~12.55m ・ 塊状・緻密な安山岩溶岩からなる。				14	
16										11.27~12.55m ・ 塊状・緻密な安山岩溶岩からなる。	
18				安山岩溶岩 (多孔質)	暗灰	20.00~24.14m ・ 発泡痕が顕著な多孔質安山岩溶岩からなる。 ・ 斜長石斑晶に富む。 ・ 全体的に弱く酸化し、やや紫味を帯びる。 ・ 割れ目沿いの一部は黄緑色に変質する。 ・ 一部の発泡痕に緑色粘土鉱物が充填する。				18	
20										20.00~24.14m ・ 発泡痕が顕著な多孔質安山岩溶岩からなる。 ・ 斜長石斑晶に富む。 ・ 全体的に弱く酸化し、やや紫味を帯びる。 ・ 割れ目沿いの一部は黄緑色に変質する。 ・ 一部の発泡痕に緑色粘土鉱物が充填する。	
22				安山岩溶岩 (不均質な多孔)	暗緑灰	20.25~20.92m ・ 自破碎状を呈する。 ・ 上下端境界は凹凸かつ不明瞭である。				22	
24	16.06 24.14									20.25~20.92m ・ 自破碎状を呈する。 ・ 上下端境界は凹凸かつ不明瞭である。	
26				泊	暗緑灰	24.14~31.96m ・ 弱い自破碎構造を持つ安山岩溶岩からなる。 ・ 基質と安山岩との境界は不規則な形状を呈し、不明瞭である。 ・ 基質は変質により暗緑灰色を呈する ・ 安山岩には発泡している箇所が認められる。				26	
28										24.14~31.96m ・ 弱い自破碎構造を持つ安山岩溶岩からなる。 ・ 基質と安山岩との境界は不規則な形状を呈し、不明瞭である。 ・ 基質は変質により暗緑灰色を呈する ・ 安山岩には発泡している箇所が認められる。	
30										30	

標尺 m	標高 E.L. m	深 度 m	柱 状 図	地質		色 調	記 事	測 定 日 期	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
32	8.24	31.96		層 (To)	質部 ( )		<p>31.96~40.00m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安山岩質な火山角礫岩からなる。</li> <li>・最大径90cmの亜角礫状の多孔質な安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の多孔質な安山岩質火山礫を含む。</li> <li>・基質は細粒・緻密な暗緑色の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。</li> <li>・火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。</li> <li>・ほとんどの火山岩塊および火山礫は発泡していないが、一部に多孔質なものを含む。</li> </ul> <p>33.85~35.22m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜長石斑晶に富む安山岩溶岩からなる。</li> </ul> <p>36.96~38.66m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基質の一部に酸化がみられ褐色味を帯びる。</li> </ul> <p>40.00~60.00m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安山岩質な火山角礫岩からなる。</li> <li>・最大径100cm程度の角礫状ないしは亜角礫状の安山岩質火山岩塊と、径0.5~5cmの不定形の安山岩質火山礫を含む。</li> <li>・基質は細粒・緻密な同質の凝灰岩からなり、一部に斜長石を含む。</li> <li>・火山岩塊および火山礫は斜長石に富む。</li> <li>・ほとんどの火山岩塊および火山礫は発泡していないが、一部に多孔質なものを含む。</li> </ul> <p>49.22m以深</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部に多孔質安山岩塊を含む。</li> </ul> <p>49.43~50.27m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜長石斑晶に富む安山岩溶岩からなる。</li> <li>・割れ目が多い。</li> </ul> <p>50.57~51.44m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・径87cm程度の安山岩礫からなる。</li> <li>・礫の輪郭が明瞭である。</li> <li>・発泡痕の一部に白色鉱物が充填する。</li> </ul> <p>55.48~56.48m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜長石斑晶に富む緻密な安山岩溶岩からなる。</li> </ul> <p>59.63m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傾斜65°の開口割れ目が認められる。</li> <li>・割れ目に沿った深度59.58~59.83mの区間が酸化により褐色化している。</li> </ul>			32
34	6.35	33.85		火山角礫岩		暗灰		34		
	4.98	35.22		安山岩溶岩		暗灰		36		
36	3.24	36.96		火山角礫岩		黄緑灰		38		
38	1.54	38.66				暗緑灰		40		
40						暗緑灰		42		
42						暗緑灰		44		
44					暗緑灰	46				
46					暗緑灰	48				
48					暗緑灰	50				
50			泊層 (To)	火山角礫岩	暗灰	52				
52				暗灰	54					
54				暗灰	56					
56				暗灰	58					
58				暗灰	60					
60	-19.80	60.00				60				



# 【MK測線】

MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
1/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
2/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
3/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
 4/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
5/8 X=119480.627 Y=45592.976



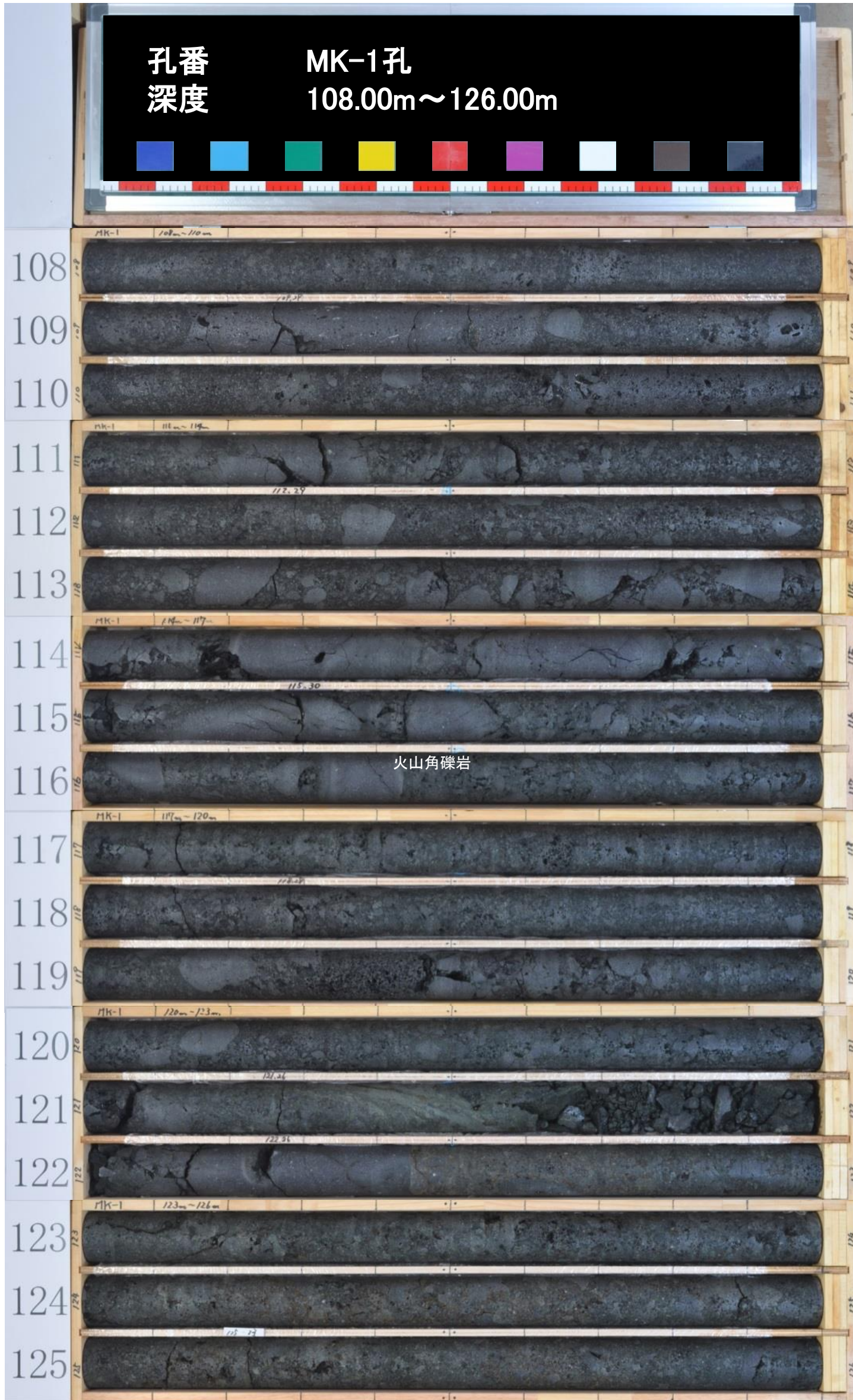


MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
6/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
7/8 X=119480.627 Y=45592.976





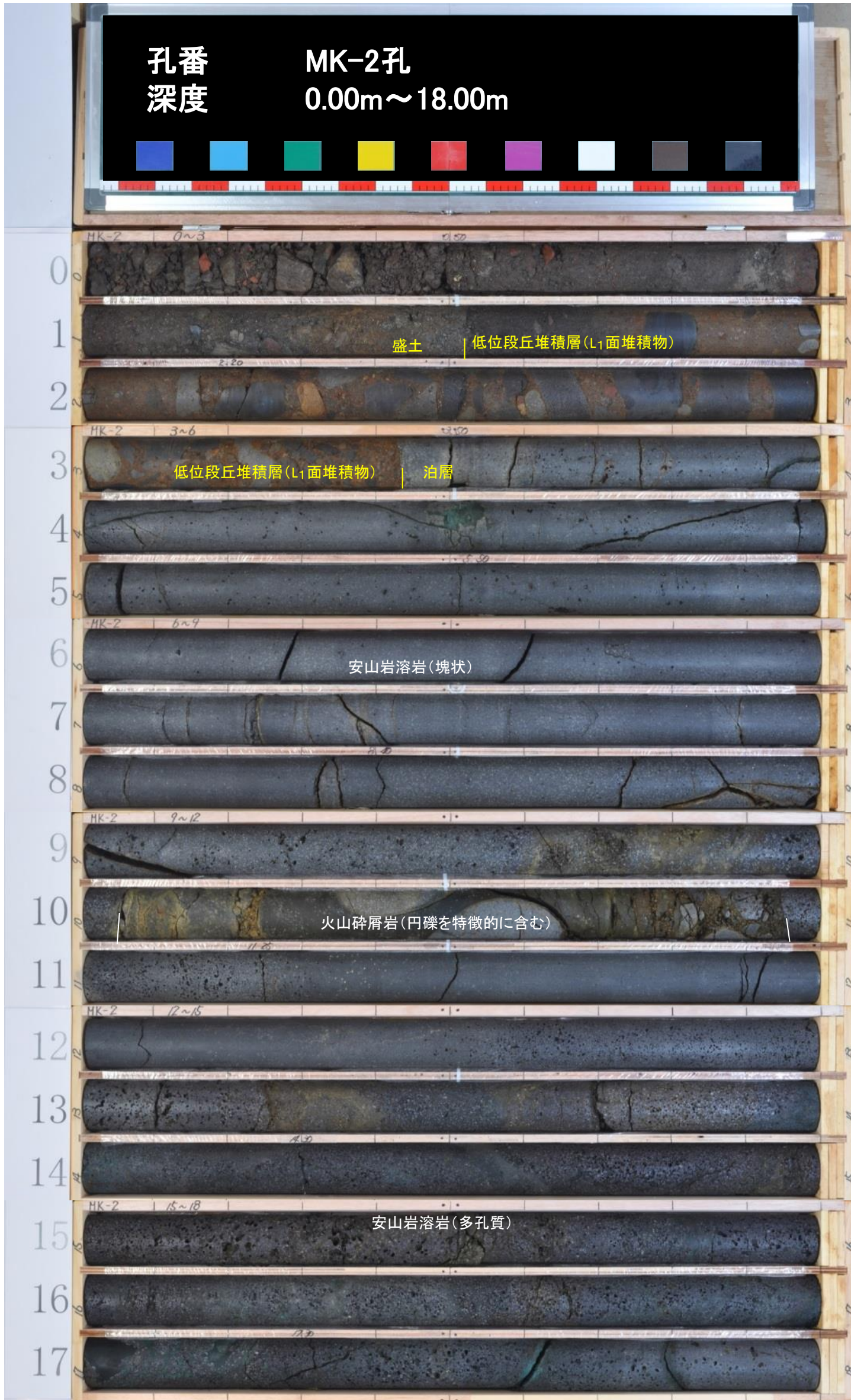
MK-1孔 孔口標高 40.39m TN120° E方向 斜60° 140m  
8/8 X=119480.627 Y=45592.976





MK-2孔  
1/4

孔口標高 40.20m 鉛直 60m  
X=119467.737 Y=45585.893





MK-2孔  
2/4

孔口標高 40.20m 鉛直 60m  
X=119467.737 Y=45585.893





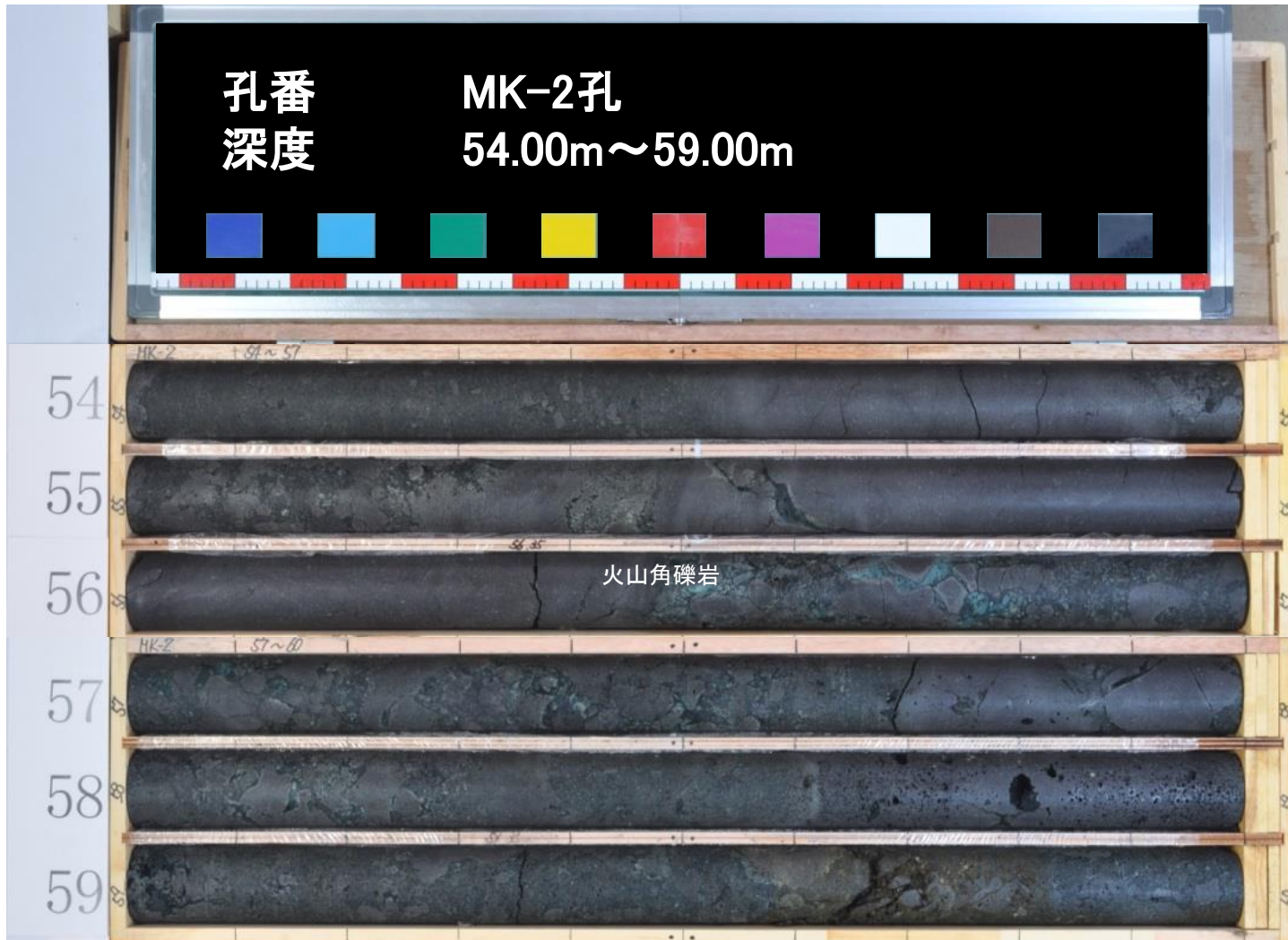
MK-2孔  
3/4

孔口標高 40.20m 鉛直 60m  
X=119467.737 Y=45585.893





MK-2孔 孔口標高 40.20m 鉛直 60m  
4/4 X=119467.737 Y=45585.893



# 【IB測線】

IB-1孔

孔口標高 46.98m 鉛直 69m  
X=119093.484 Y=45574.782

標尺 (m)	標高 (m)	地層名	地質	柱状図	深度 (m)	記事
0			ローム層		0.00	0.00~0.29mは黒色土壌
	45.18				1.80	
5		扇状地堆積物	シルト質砂礫層 (扇状地)		6.85	礫は安山岩の角~亜角礫で、中~大礫を主とし、巨礫を含む。基質は砂質シルト。
	40.13				8.60	
	38.38		ローム層		8.60	7.19~7.29mにφ1mm以下の橙色軽石 (To-Rd) 8.19~8.31mは黄褐色火山灰 (Toya)
10		中位段丘堆積層 (M2)	礫層		11.81	礫は安山岩の中礫を主とし、大礫を含む。
	35.17					
15		泊層	安山岩溶岩塊状部		17.33	斜長石斑晶の少ない部分と多い部分が認められる。(下位より、多→少→多。)
	29.65		安山岩溶岩自破砕部		19.50	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
20			安山岩溶岩多孔質部		22.40	斜長石斑晶が少ない。球型~扁平に伸びた気泡が多い。
	24.58		安山岩溶岩自破砕部		25.20	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
25			安山岩溶岩多孔質部		27.13	斜長石斑晶が少ない。球型~不定形の気泡が多い。
	21.78		安山岩溶岩塊状部		32.93	斜長石斑晶が少ない。
	19.85		自破砕部		33.85	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
30			安山岩溶岩多孔質部		37.42	大粒の斜長石斑晶を多く含む。球型~不定形の気泡が多い。礫状を呈する部分もみられる。
	14.05		安山岩溶岩塊状部		44.31	大粒の斜長石斑晶を多く含む。
	13.13					
35		安山岩溶岩多孔質部				
	9.56					
40						
	2.67					
45						
50						
55						
60						
65						
	22.02				69.00	
70						



IB-2孔

孔口標高 44.06m 鉛直 36m  
X=119090.722 Y=45615.906

標尺 (m)	標高 (m)	地層名	地質	柱状図	深度 (m)	記事
0	43.16		ローム層		0.90	0.00~0.30mは黒色土壌
5	37.81	扇状地堆積物	シルト質礫層~ 礫混じりシルト層 (扇状地)		6.25	礫は安山岩の細礫を主とし、中礫を含む。 基質は砂質シルト。
	36.32		ローム層		7.74	6.50~6.55mにφ1mm以下の橙色軽石 (To-Rd) 7.50~7.80mは黄褐色火山灰 (Toya)
10	32.90	堆積層 中位段丘 M2	礫層		11.16	礫は安山岩の中~大礫を主とする。
15	27.01	泊層	安山岩溶岩塊状部		17.05	斜長石斑晶の少ない部分と多い部分が認められる。 (下位より、多→少→多。)
	26.26		自破砕部		17.80	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
20	21.56		安山岩溶岩多孔質部		22.50	斜長石斑晶が少ない。 球型~不定形の気泡が多い。
25	16.39		安山岩溶岩塊状部		27.87	斜長石斑晶が少ない。
	14.96		自破砕部		29.10	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
30	13.36		安山岩溶岩塊状部		30.70	斜長石斑晶が少ない。
	13.09		自破砕部		30.97	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
35	8.06		安山岩溶岩多孔質部		38.00	大粒の斜長石斑晶を多く含む。 球型~不定形の気泡が多い。 礫状を呈する部分もみられる。

IB-3孔

孔口標高 38.70m 鉛直 33m  
X=119084.039 Y=45652.087

標尺 (m)	標高 (m)	地層名	地質	柱状図	深度 (m)	記事
0			ローム層			0.00~0.36mは黒色土壌
	35.04		シルト層 (視認)		3.39	2.55~2.62mにφ1mm以下の橙色軽石 (To-Rd)
5	32.09	堆積層 中位段丘 M2	礫層		6.61	礫は安山岩の中~大礫を主とする。
10	27.65	泊層	安山岩溶岩塊状部		11.05	斜長石斑晶の少ない部分と多い部分が認められる。 (下位より、多→少→多。)
	25.36		安山岩溶岩自破砕部		13.34	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
15	21.70		安山岩溶岩多孔質部		17.00	斜長石斑晶が少ない。 球型~不定形の気泡が多い。
20	13.14		安山岩溶岩塊状部		25.56	斜長石斑晶が少ない。
	12.74		自破砕部		25.96	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
30	5.70		安山岩溶岩多孔質部		33.00	大粒の斜長石斑晶を多く含む。 球型~不定形の気泡が多い。

標尺 (m)	標高 (m)	地層名	地質	柱状図	深度 (m)	記事
0			ローム層		0.00	0.00~0.25mは黒色土壌
	34.75		シルト層 (薄層)		2.32 2.90	
5	31.16	中位段丘 堆積層 (c)	礫層		6.49	礫は安山岩の中礫を主とし、大礫を含む。
	29.61	泊層	安山岩溶岩塊状部		8.04	斜長石斑晶の少ない部分と多い部分が認められる。 (下位より、多→少。)
10			安山岩溶岩自破砕部		14.00	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
15			安山岩溶岩塊状部		25.10	斜長石斑晶が少ない。
25	12.55		安山岩溶岩自破砕部		28.40	大粒の斜長石斑晶を多く含む。礫状を呈する。
30	11.25		安山岩溶岩多孔質部		39.00	大粒の斜長石斑晶を多く含む。 球型~不定形の気泡が多い。
40	-1.35					

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
	42.68	0.38		火山灰層 (Im)	ローム	黒褐	0.00~0.38m ・黒褐色の土壌からなる。 0.38~0.92m ・ロームからなる。 ・下端境界は漸移的である。	6/7 朝 3.20m 	試料名 採取深度 IB-5.1 0.40m 3 2 5 4 7 6 9 8 11 10 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 68 7.30m 火山灰分析サンプリング	
2	42.14	0.92		扇状地堆積物	礫混りシルト	褐				0.92~5.29m ・礫混りシルトからなる。 ・礫は径0.1~2.3cmの多色の安山岩質軽石ないしスコリアの垂円~垂角礫を主とする。 ・基質は砂質シルトからなる。 ・礫の多い部分と、礫の少ない部分が2~10cmで互層状をなす。 ・コアでの傾斜は0~20°程度である。
	37.77	5.29		火山灰層 (Im)	ローム	明褐	5.29~7.00m ・ロームからなる。 ・5.29~5.40mに橙色火山灰 (To-Kb) を挟む。 ・5.60~5.70mに赤褐色粗粒火山灰 (To-Rd) を挟む。 ・6.70~6.90m付近、火山灰質である。			
4				中位段丘堆積層 (M2)	シルト混り砂礫	暗灰黄		7.00~10.28m ・シルト混り砂礫からなる。 ・礫は径0.1~10cmの円~垂円状の安山岩を主とする。 ・礫支持である。		
	36.06	7.00		火山灰層 (Im)	ローム	明褐	10.28~16.50m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に富む部分と乏しい部分がみられる。 ・下端境界は不明瞭である。			
6				泊層 (To)	安山岩溶岩 (塊状部)	暗灰		16.50~17.60m ・火山角礫岩状を呈する。 ・赤色酸化している。 ・斜長石斑晶に富む。		
8						暗褐				
10						暗赤褐				
12	32.78	10.28		安山岩溶岩 (自破砕部)	暗赤褐	17.60~22.17m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶を含む。 ・多孔質である。				
14								安山岩溶岩 (多孔質部)	暗赤灰	22.17~29.60m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に乏しい。
16	30.61	12.45		安山岩溶岩 (多孔質部)	灰褐					
18								安山岩溶岩 (多孔質部)	灰褐	
20	27.48	15.58		泊層 (To)	安山岩溶岩 (塊状部)	褐灰				
22								安山岩溶岩 (塊状部)	褐灰	
24	26.56	16.50	安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤	29.60~30.08m ・火山角礫状を呈する。赤色酸化している。					
26						安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤			
28	25.46	17.60	泊層 (To)	安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤					
30						安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤			
	24.06	19.00	安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤						
	20.89	22.17				安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤			
	13.46	29.60	安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤						
	12.98	30.08				安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤			

IB-5孔  
2/2

孔口標高 43.06m 鉛直 40m  
X=119088.865 Y=45621.611

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
30	12.98	30.08		層 (To)	安山岩溶岩 (自破碎部)	暗赤褐	29.60~30.08m ・火山角礫状を呈する。赤色酸化している。			30
32					安山岩溶岩 (多孔質部)	暗赤灰	30.08~40.00m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に富む。 ・多孔質である。 ・所々赤色酸化している。 ・緑色の鉱物脈がみられる。			32
34										34
36										36
38										38
40	3.06	40.00								40

IB-6孔  
1/2

孔口標高 40.23m 鉛直 40m  
X=119087.404 Y=45636.430

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層 名	層相					
2	39.60	0.63		火山灰層 (1m)	黒ボク混りシルト	黒褐	0.00~0.63m ・黒褐色の耕作土からなる。  0.63~4.42m ・ロームからなる。 ・2.65~2.85mにシルト質砂を挟む。 ・3.05~3.08mにパッチ状に赤褐色の火山灰 (To-Kb) を挟む。 ・3.28~3.34mに褐色~赤褐色の粗粒火山灰 (To-Rd) を挟む。 ・4.20~4.33mに黄灰色の細粒火山灰 (Toya) をパッチ状に挟む。	1.02m 6/19朝  火山灰分析サブリンク 試料名 採取深度 IB-6 3.07 3.05~3.08m IB-6 3.30 3.28~3.34m IB-6 4.25 4.20~4.33m		2
	39.23	1.00		ローム	褐					
	38.58	1.65		扇状地堆積物		ローム質シルト質砂				
	37.58	2.65		火山灰層 (1m)		ローム				
	37.38	2.85				シルト質砂				
4	36.33	3.90	ローム	褐						
	35.81	4.42	ローム							
6	32.08	8.15	中位段丘堆積層 (M2)	シルト混り砂礫	灰褐	4.42~8.15m ・シルト混り砂礫からなる。 ・礫支持である。 ・礫は径0.1~0.6cmの円~垂円状の安山岩を主とする。	6			
								10	26.73	13.50
14	24.73	15.50	安山岩溶岩 (自破碎部)	赤褐	13.50~15.50m ・安山岩溶岩からなる。 ・火山角礫岩状を呈する。 ・赤色酸化している。 ・緑色~緑黄色の鉱物が見られる。 ・下位の溶岩との境界は漸移的。	14				
							16	21.51	18.72	安山岩溶岩 (多孔質部)
18	19.43	20.80	安山岩溶岩 (多孔質部)	灰~褐灰	20.80~28.35m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に乏しい。 ・28.20~28.33m 割れ目沿いに暗緑色の鉱物脈を挟む。	18				
							20	11.88	28.35	安山岩溶岩 (自破碎部)
22	11.52	28.71	泊層 (To)	赤褐	28.71~40.00m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に富む。 ・多孔質である。 ・赤色酸化している。	22				
							24	10.91	29.32	安山岩溶岩 (塊状部)
26	11.88	28.35	安山岩溶岩 (自破碎部)	暗赤	26					
						28	11.52	28.71	泊層 (To)	赤褐
30	10.91	29.32	安山岩溶岩 (塊状部)	暗赤	30					



IB-6孔  
2/2

孔口標高 40.23m 鉛直 40m  
X=119087.404 Y=45636.430

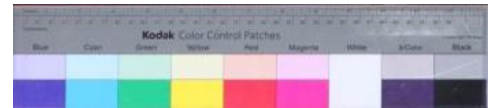
標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定日 最終孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
30				層 (To)	安山岩 溶岩 (多孔質部)	暗赤灰	28.71~40.00m ・塊状の安山岩溶岩からなる。 ・斜長石斑晶に富む。 ・多孔質である。 ・赤色酸化している。		30	
32	7.23	33.00				赤灰		32		
34	4.48	35.75				赤褐		34		
36	3.83	36.40				暗赤灰		36		
40	0.23	40.00						40		

# 【IB測線】

IB-1孔  
1/4

孔口標高 46.98m 鉛直 69m  
X=119093.484 Y=45574.782

2010年撮影

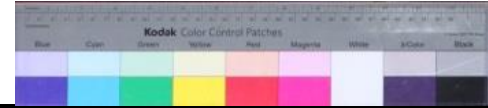




IB-1孔  
2/4

孔口標高 46.98m 鉛直 69m  
X=119093.484 Y=45574.782

2010年撮影



孔番  
深度

IB-1孔  
18.00m~36.00m

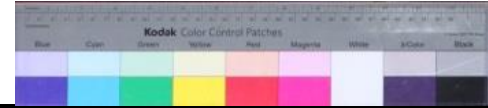




IB-1孔  
3/4

孔口標高 46.98m 鉛直 69m  
X=119093.484 Y=45574.782

2010年撮影



孔番  
深度

IB-1孔  
36.00m~54.00m





IB-1孔  
4/4

孔口標高 46.98m 鉛直 69m  
X=119093.484 Y=45574.782

2010年撮影



孔番  
深度

IB-1孔  
54.00m~69.00m

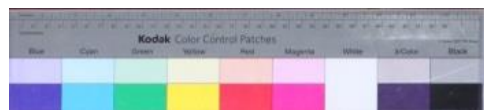




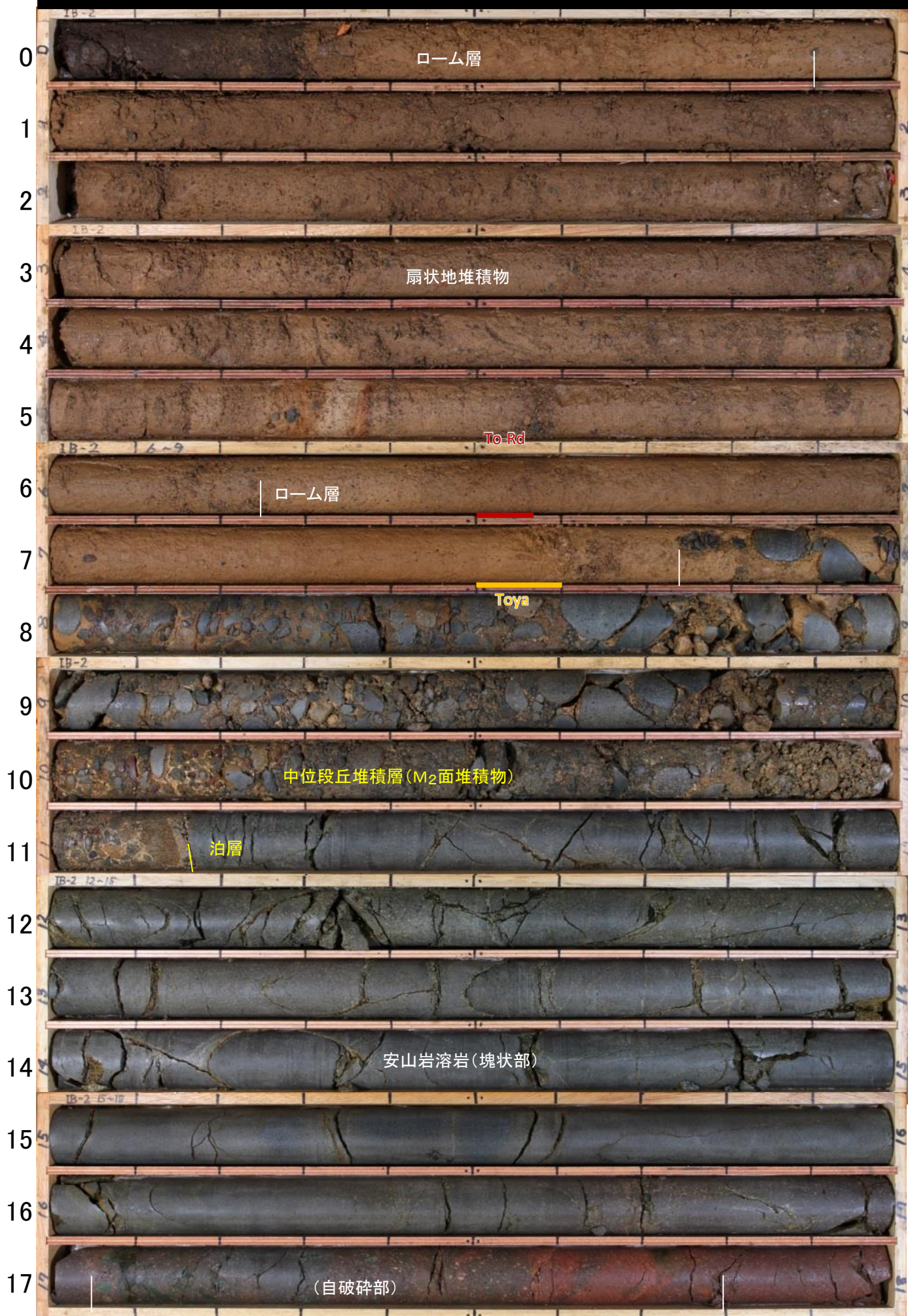
IB-2孔  
1/2

孔口標高 44.06m 鉛直 36m  
X=119090.722 Y=45615.906

2010年撮影



孔番 IB-2孔  
深度 0.00m~18.00m

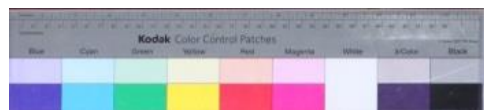




IB-2孔  
2/2

孔口標高 44.06m 鉛直 36m  
X=119090.722 Y=45615.906

2010年撮影



孔番  
深度

IB-2孔  
18.00m~36.00m



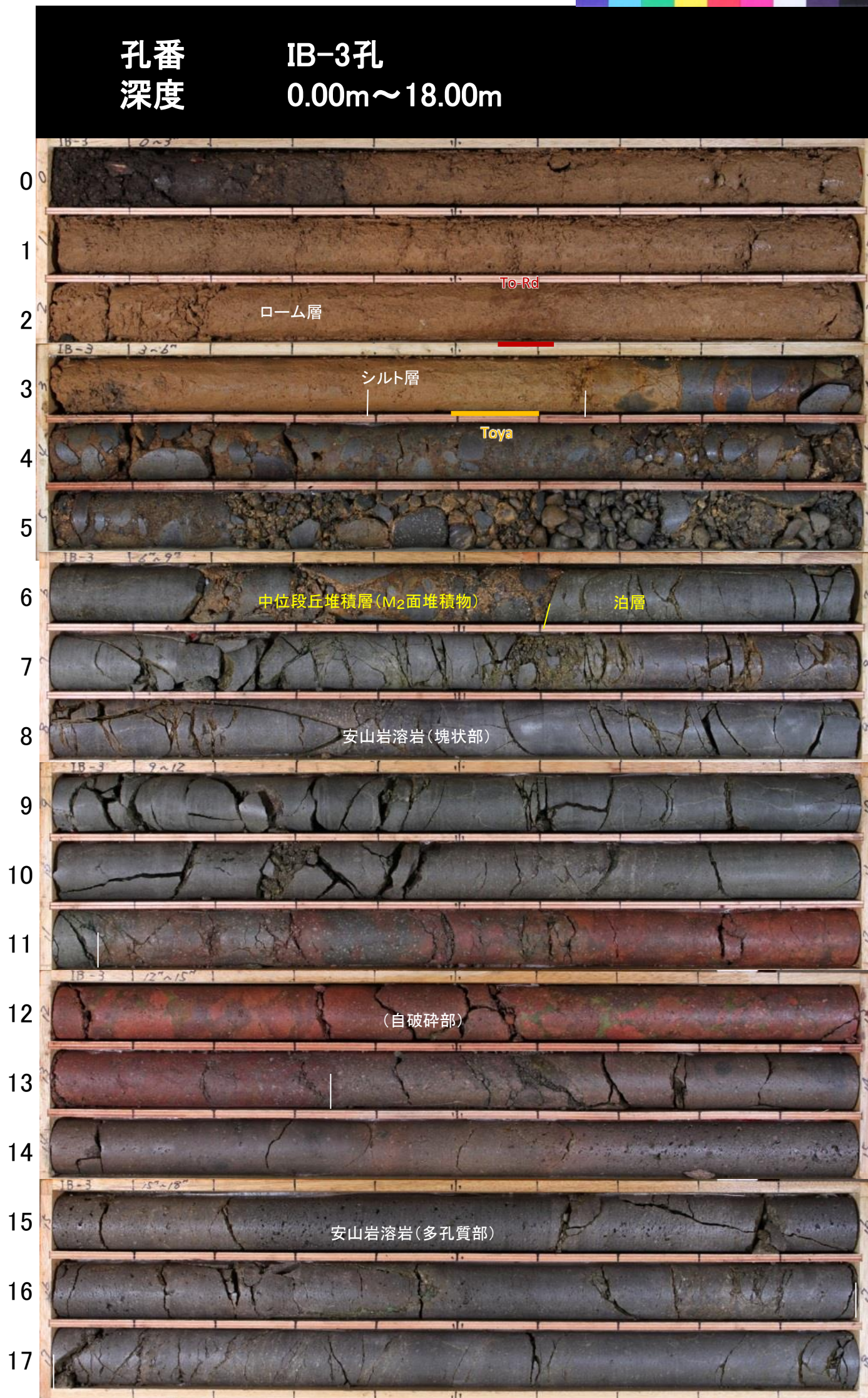
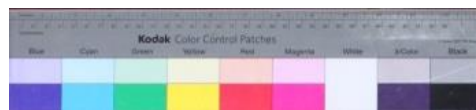


IB-3孔  
1/2

孔口標高 38.70m  
X=119084.039

鉛直 33m  
Y=45652.087

2010年撮影



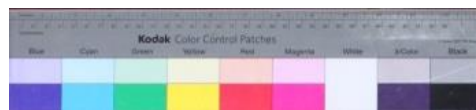


IB-3孔  
2/2

孔口標高 38.70m  
X=119084.039

鉛直 33m  
Y=45652.087

2010年撮影



孔番  
深度

IB-3孔  
18.00m~33.00m

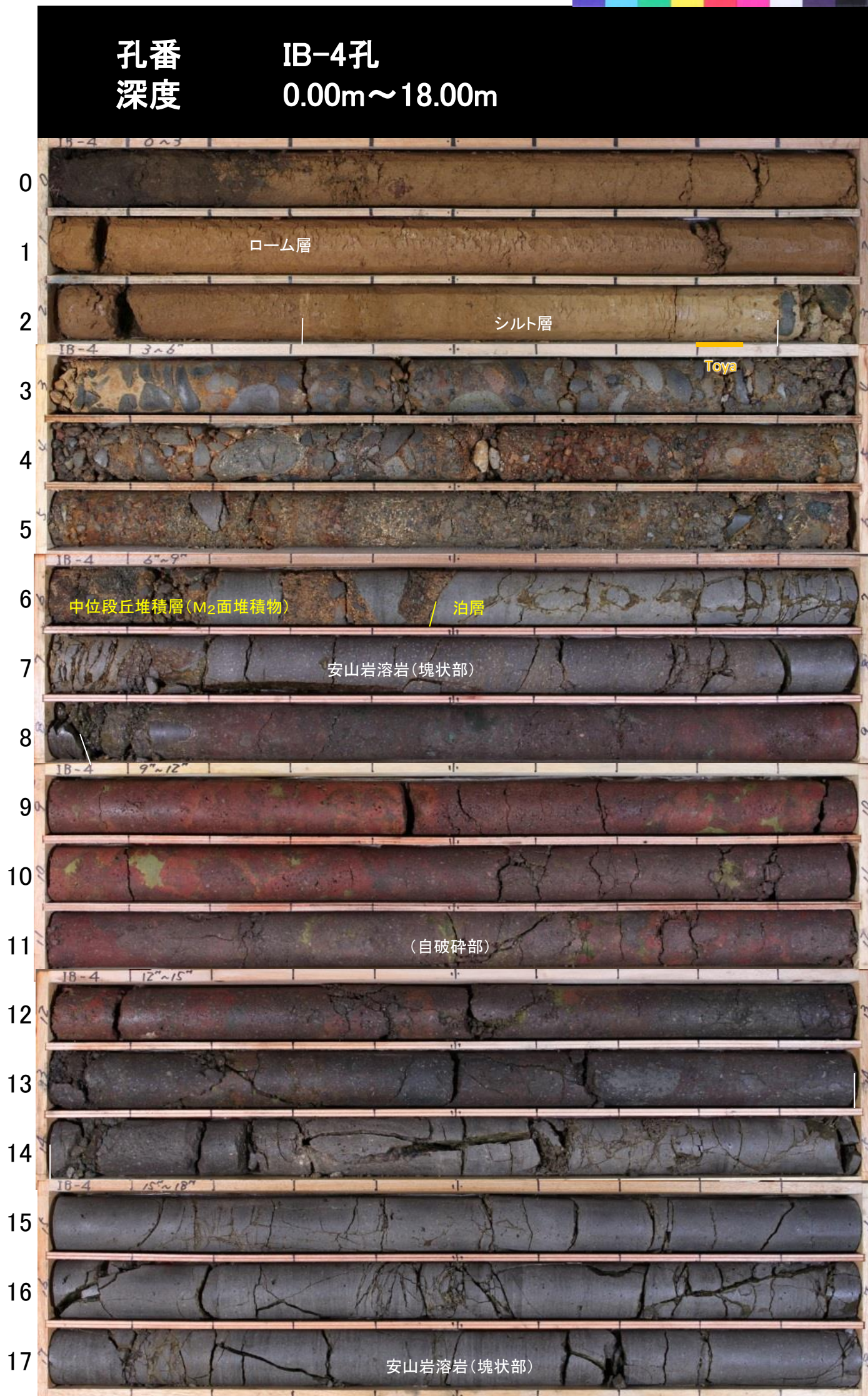




IB-4孔  
1/3

孔口標高 37.65m 鉛直 39m  
X=119082.936 Y=45681.732

2010年撮影

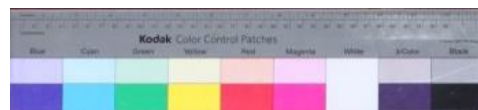




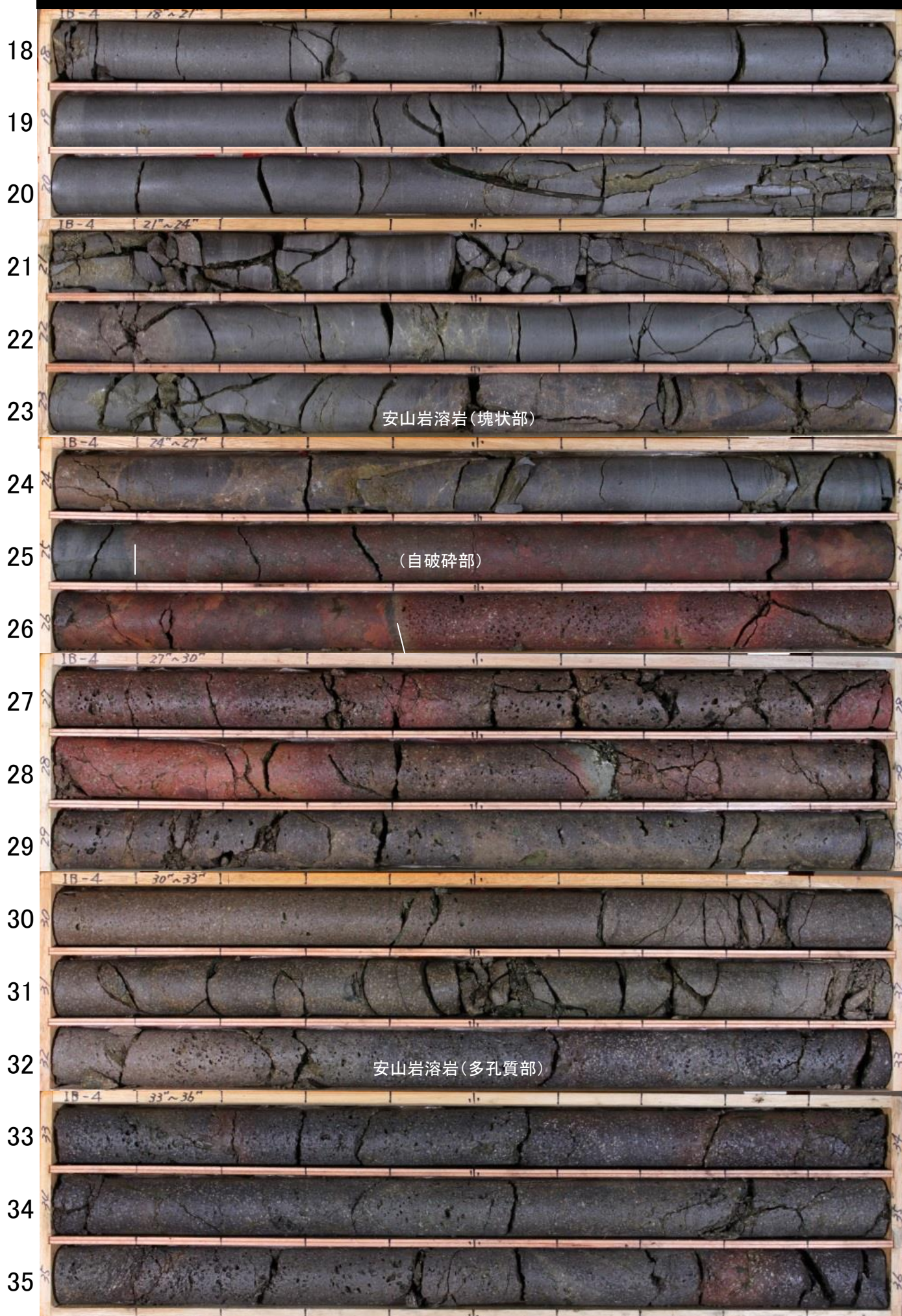
IB-4孔  
2/3

孔口標高 37.65m 鉛直 39m  
X=119082.936 Y=45681.732

2010年撮影



孔番 IB-4孔  
深度 18.00m~36.00m

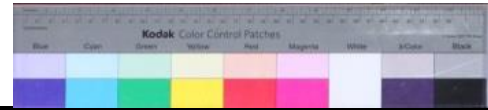




IB-4孔  
3/3

孔口標高 37.65m 鉛直 39m  
X=119082.936 Y=45681.732

2010年撮影



孔番 IB-4孔  
深度 36.00m~39.00m





IB-5孔  
1/3

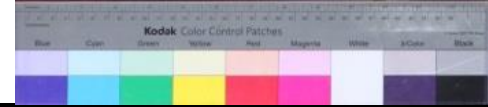
孔口標高 43.06m 鉛直 40m  
X=119088.865 Y=45621.611





IB-5孔  
2/3

孔口標高 43.06m 鉛直 40m  
X=119088.865 Y=45621.611



孔番  
深度

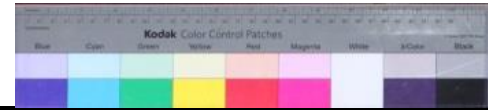
IB-5孔  
18.00m~36.00m





IB-5孔  
3/3

孔口標高 43.06m 鉛直 40m  
X=119088.865 Y=45621.611



孔番 IB-5孔  
深度 36.00m~40.00m





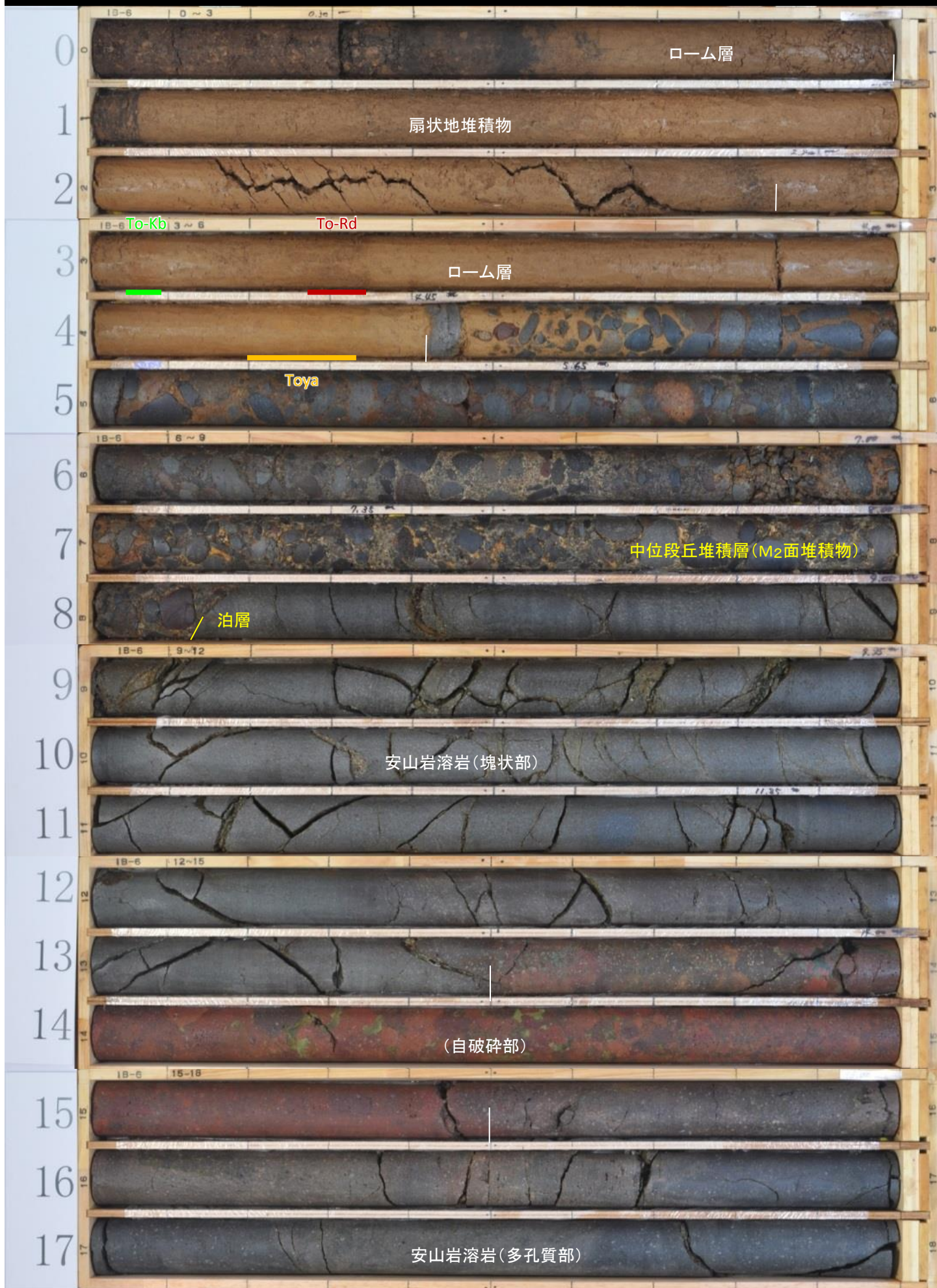
IB-6孔  
1/3

孔口標高 40.23m 鉛直 40m  
X=119087.404 Y=45636.430



孔番  
深度

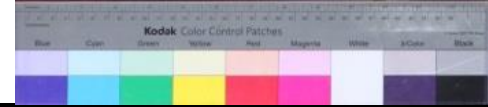
IB-6孔  
0.00m~18.00m





IB-6孔  
2/3

孔口標高 40.23m 鉛直 40m  
X=119087.404 Y=45636.430



孔番  
深度

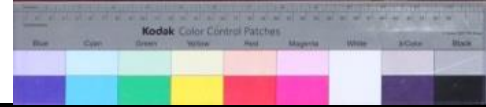
IB-6孔  
18.00m~36.00m





IB-6孔  
3/3

孔口標高 40.23m 鉛直 40m  
X=119087.404 Y=45636.430



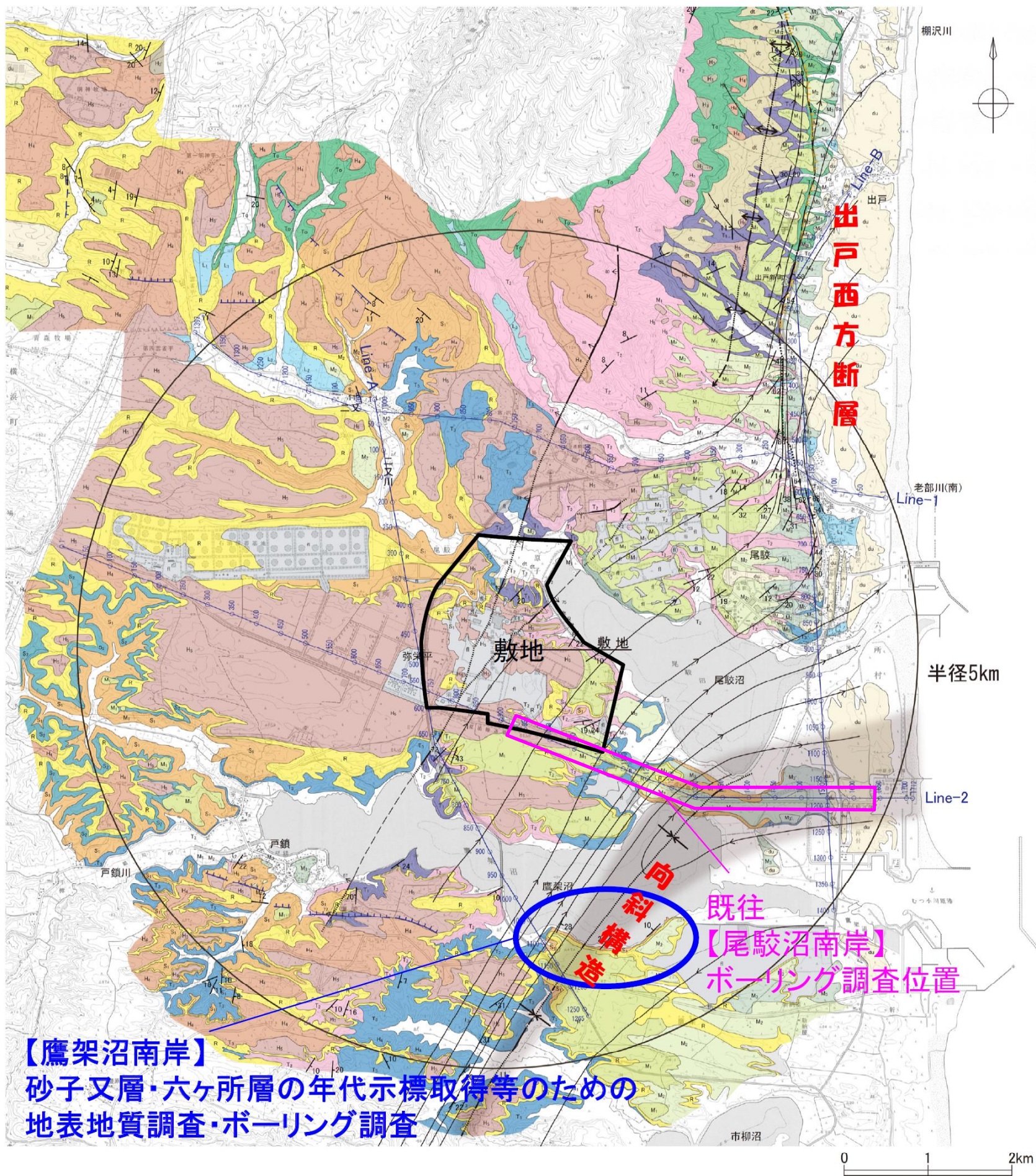
孔番 IB-6孔  
深度 36.00m~40.00m





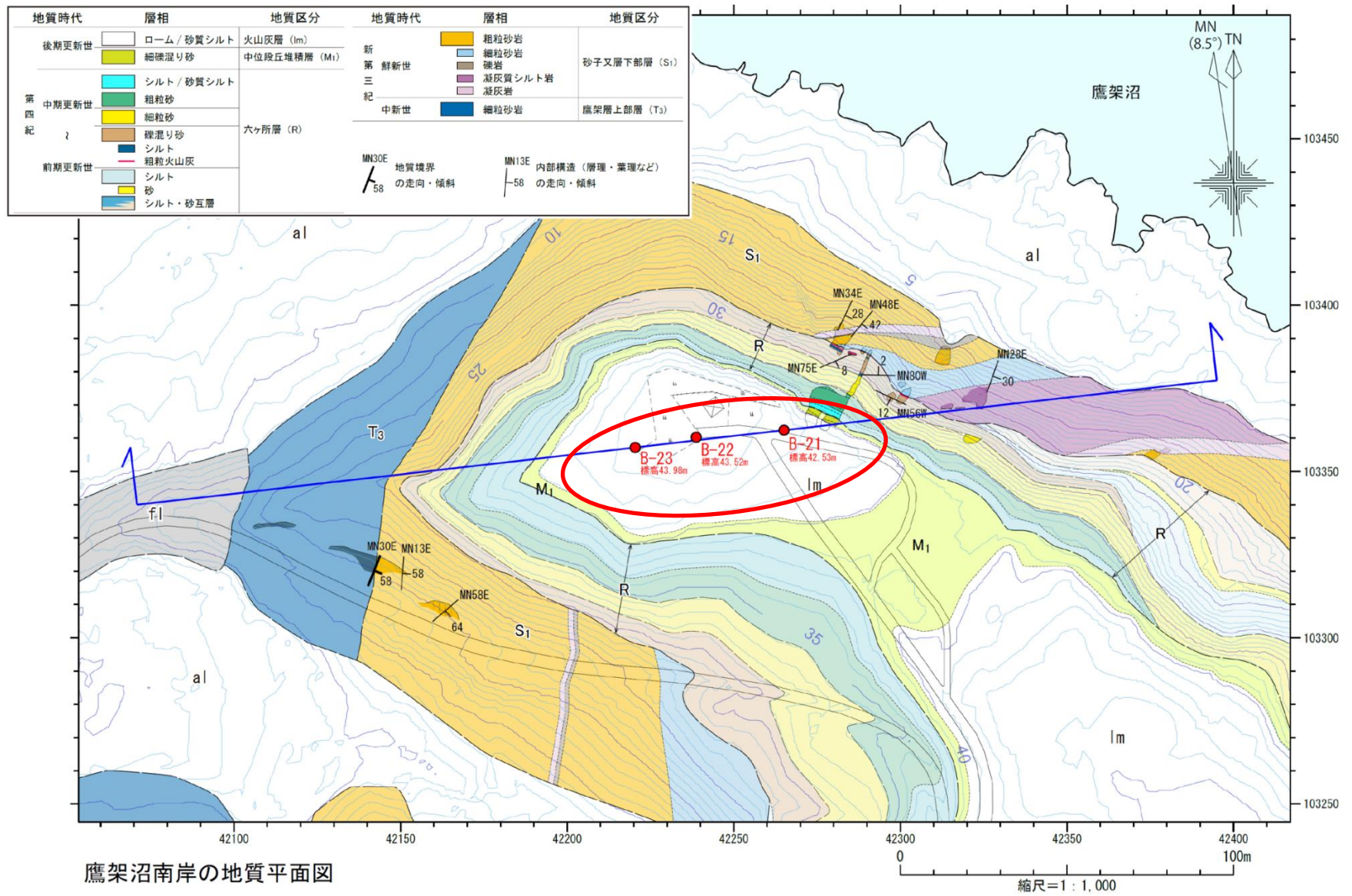
# 3. 出戸西方断層南方

## ボーリング位置図





# 出戸西方断層南方（鷹架沼南岸） ボーリング位置図





標尺 m	標高 E. L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層 名	層 相					
2	40.23	2.30		火山 灰層 (lm)	ローム	淡 褐	0.00~2.49m ・ロームからなる。 ・1.50~1.60m付近、径0.1cm程度の灰色火山岩片が散在する。(To-Rd)	6/7 朝 38.96m	トリプルサンプリング 別孔	2
	39.71	2.49			細礫混り 砂	褐 灰				
4	39.36	3.17		中 堆位 積段 層丘 (M1)	シルト	淡 黄 褐 ~ 橙	3.17~3.66mはややシルト分を含む。 ・下端境界15°程度で凸凹している。		3.50m	4
	38.87	3.66			粗粒 砂	褐 灰				
6	37.23	5.30					5.30~8.07m ・主に粗粒砂からなる。淘汰はやや悪い。 ・径4mm以下の扁平した細円礫を多く含む。 ・5.53~5.60m付近はシルト分を多く含み、サンドパイプがみられる。 ・下端境界は、概ね水平である。		5.50m	6
10	32.75	9.78		六 ヶ 所 層 (R)			10.65~18.17m ・主に礫混り砂からなり、腐植、シルトなどを挟む。層理面傾斜は水平~5°程度である。 ・径4cm以下の灰白色シルト岩からなる角~亜円礫を含む。		7.46m 7.52m	8
	32.31	10.22								
12	31.88	10.65					10.65~11.42m ・砂混りシルトからなり、葉理は概ね水平である。		8.52m	10
	31.11	11.42								
14	28.41	14.12					14.12~14.47m ・分解した腐植からなる。		9.52m	10
	28.06	14.47								
16	26.85	15.68					15.86~15.94m ・腐植質シルト層中に火山灰を挟む。 15.93~16.20m ・水平~50°の凸凹した葉理がみられる。 16.59~18.17m ・礫からなり、基底には径8cm以下の安山岩、頁岩、チャートからなる円礫を多く含む。		10.52m	10
	25.94	16.59								
18	24.36	18.17					18.17~19.51m ・主に径10cm以下の泥岩、凝灰岩角~円礫からなり淘汰は極めて悪い。よく締まっている。 ・下端境界35°である。 19.51~20.12m ・細粒凝灰岩からなる。下端傾斜30°である。		11.52m	12
	23.02	19.51								
20									12.52m	12
									13.52m	14



標尺 m	標高 E.L.	深 度	柱 状 図	地質		色 調	記 事	最 終 孔 内 水 位	測 定 月 日	試料採取	標 尺 m
				地層名	層相					試料名/ 採取深度	
	22.41	20.12		凝灰岩	黄白		19.51~20.12m ・細粒凝灰岩からなる。下端傾斜30°である。  20.12~40.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩、シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は10~35°程度のものが多い。  ・24.00~28.00mは全体的に葉理が不明瞭である。  ・26.19~27.70m付近、弱い葉理構造あり。傾斜60°程度である。				
22						褐灰					
24											
26											
28	14.53	28.00		砂子又層下部層 (S1)	粗粒砂岩	黄褐	28.00~28.80m ・凝灰質砂岩からなる。 ・葉理が顕著で傾斜25°程度である。				
30	13.73	28.80				暗褐灰	28.80~33.33m ・葉理の傾斜は10~20°程度である。				
32											
34	9.2	33.33				黄褐	33.33~35.53m ・凝灰質砂岩からなる。 ・径1cm程度の軽石粒子を含む。 ・下端境界は45°程度。面はシャープで密着している。				
36	7.00	35.53				暗褐灰	35.53~38.21m ・粗粒砂岩からなる。 ・葉理の傾斜は、概ね水平である。				
38	5.63	36.90				黄褐	38.21~38.30m ・シルト岩の薄層。上下境界の傾斜は50°程度である。				
	4.32	38.21			淡黄褐	33.80~40.28m ・凝灰質砂岩からなる。		6/7 朝			
40	4.23	38.30						38.96m			



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
	2.25	40.28				淡黄褐	40.00~60.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は20~50°程度のものである。			42
	0.05	42.48				黄褐	42.48~45.47m ・凝灰質砂岩からなる。 ・葉理の傾斜は15~25°程度のものである、一部40°程度を示す。			44
	-2.94	45.47				暗褐灰	45.47~60.00m ・粗粒砂岩からなり、若干の軽石が混入する。 淘汰はやや良好である。 ・葉理の傾斜は40~50°程度のものである。			46
			砂子又層下部層 (S1)			粗粒砂岩				48
										50
										52
										54
										56
										58
										60



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
62				粗粒砂岩	暗褐灰		60.00~80.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は10~35°程度のものが多い。  61.60~62.00m ・葉理の傾斜は45~50°程度である。		62	
64		64								
66		66								
68		68								
70			砂子又層下部層 (S1)						70	
72		72								
74			シルト岩	粗粒砂岩	暗褐灰		75.10~75.47m ・シルト~細粒砂岩が互層する。傾斜40°程度である。		74	
76										76
78			粗粒砂岩		暗褐灰		75.47~78.60m ・塊状、無層理である。 ・下端境界は40°である。  78.60~82.50m ・塊状、無層理な中粒砂岩からなる。 ・下位の粗粒砂岩に漸移する。		78	
80										80
					灰		・78.77m以深は風化の影響が少なく、褐色味がほとんどなくなる。			



標尺 m	標高 E.L. m	深 度 m	柱 状 図	地質		色 調	記 事	最 終 孔 内 水 位	測 定 月 日	試料採取	標 尺 m
				地 層 名	層 相					試料名/ 採取深度	
82	-39.97	82.50		砂子又層下部層 (S1)	粗粒砂岩	灰	80.00~82.50m <ul style="list-style-type: none"> <li>塊状、無層理な中粒砂岩からなる。</li> <li>下位の粗粒砂岩に漸移する。</li> </ul>			82	
84							82.50~88.82m <ul style="list-style-type: none"> <li>塊状、無層理な粗粒~極粗粒砂岩からなる。</li> <li>下位との境界は明瞭で傾斜40°である。</li> </ul>			84	
86											
88	-46.29	88.82		鷹架層上部層 (T3)	細粒砂岩	暗灰	88.82~92.00m <ul style="list-style-type: none"> <li>細粒砂岩からなる。</li> <li>葉理が認められ、傾斜は45~50°程度。</li> <li>89.66~89.93mおよび90.40~91.30mは生物擾乱によって葉理が不明瞭。</li> <li>マッドパイプが見られる。</li> <li>90.60~90.75mに幅1cmの碎屑岩脈。粗粒砂岩の脈で石英粒子が多い。傾斜70°程度。</li> </ul>			88	
90											
92	-49.47	92.00									92



標尺 m	標高 E. L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位 6/18 朝 31.50m	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
2	43.12	0.40		盛土 (fi)	砂礫	赤褐	0.00~0.40m ・埋戻し土。礫、砂からなる。			2
	42.32	1.20		火山 灰層 (lm)	ローム					
4	40.84	2.68		中位 堆積 層丘 (M1)	細礫混り 砂	赤褐	2.95~4.61m ・中~粗粒砂からなる。淘汰は良好である。石英粒子が目立つ。 ・3.05~3.25mに、径0.2~0.4cmの円礫を少量含む。 ・下位との境界は凸凹している。			4
	40.57	2.95								
6	39.42	4.10			シルト	黄褐	4.61~6.65m ・シルトからなる。下端境界は、概ね水平である。 ・5.56~5.90m、6.10~6.33mに中粒砂層を挟む。			6
	38.91	4.61								
8	36.87	6.65			粗粒 砂	暗褐	6.65~9.32m ・主に粗粒砂からなる。淘汰はやや悪い。 ・シルト分を多く含むサンドパイプがみられる。			8
	34.20	9.32								
10	33.13	10.39		六ヶ 所層 (R)	細粒砂	淡褐	9.32~10.39m ・主に細~中粒砂からなる。シルト分を含み淘汰はやや悪い。			10
	32.52	11.00								
12	29.12	14.40			礫混り 砂	淡黄 褐	10.39~17.95m ・主に礫混り砂からなり、腐植質シルト、シルトなどを挟む。 ・径6cm以下の灰白色シルト岩からなる角~亜円礫を含む。 ・数cm~10cm単位で互層する。層理は概ね水平である。 ・下端境界凸凹し概ね水平である。			12
	28.77	14.75								
16	26.96	16.56			礫混り 砂	淡褐	16.56~17.95m ・主に礫からなる。基底付近は安山岩円礫を含む。 ・下端境界は凸凹している。			16
	25.57	17.95								
18	24.07	19.45		砂 下部 又層 (S1)	粗粒 砂岩	黄褐 褐	17.95~20.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩を挟む。 ・葉理の傾斜は20°程度。 17.95~19.45m ・凝灰質砂岩からなる。			18
	20									

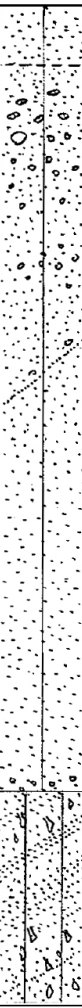



標尺 m	標高 E.L. m	深 度 m	柱 状 図	地質		色 調	記 事	最終 孔内 水位	測定 月日	試料採取	標 尺 m
				地層 名	層 相					試料名/ 採取深度	
22				砂子又層下部層 (S1)	粗粒砂岩	褐	20.12~40.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩、シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は10~40°程度が多い。	6/18 朝 31.50m ▽			22
24		黄褐				28.34~28.75m ・凝灰質砂岩からなる。 ・不明瞭な葉理が認められ、傾斜は35°程度である。	24				
26		暗褐				34.25~35.55m ・凝灰質砂岩からなる。	26				
28	15.18	28.34				黄褐	35.55~35.62m ・シルト岩からなる。下端境界は40°である。				28
30	14.77	28.75				暗褐	35.62m以深 ・葉理の傾斜は40~50°程度である。			30	
32											32
34	9.27	34.25									34
36	7.90	35.62									36
38											38
40											40



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m	
				地層名	層相						
				砂子又層下部層 (S1)	粗粒砂岩	暗褐	40.00~60.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩、シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は40~50°程度のものが多い。				
42	1.74	41.78				黄褐	41.78~42.30m ・凝灰質砂岩からなる。 ・不明瞭な葉理があり、傾斜は40°程度である。				
	1.22	42.30					42.30~53.75m ・粗粒砂岩からなる。 ・葉理の傾斜は40~50°程度である。 ・下端に扁平なシルト岩礫あり。礫長軸の傾斜は45°である。				
44											
46											
48											
50											
52											
54	-10.23	53.75					黄褐	53.75~56.23m ・塊状、無層理な中粒砂岩からなる。 ・不明瞭ながら傾斜25°程度の葉理がみられる。 ・径3cm以下のシルト岩細礫を含む。			
56	-12.71	56.23					淡黄褐	56.23~57.68m ・凝灰質砂岩からなり、葉理が顕著である。 ・葉理の傾斜は40°程度である。 ・下部ほど凝灰質となる。			
58	-14.16	57.68			淡黄褐	57.68~58.49m ・軽石質凝灰岩からなり、砂岩薄層を挟む。 ・傾斜40°程度である。					
	-14.97	58.49			淡褐	58.49~59.83m ・砂岩とシルト岩の細互層からなる。 ・短層の厚さは1~2cm。 ・傾斜は30°程度である。					
60	-16.31	59.83		シルト岩	淡褐	59.83~60.00m ・塊状な粗粒砂岩からなる。					



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
62				砂子又層下部層 (S1)	粗粒砂岩	暗灰	60.00~71.00m ・塊状、無層理な粗粒~極粗粒砂岩からなる。			62
64	-21.18	64.70					60.83~61.00m ・細粒~中粒砂岩を挟む。 ・上端傾斜10°程度である。			64
66							61.00~65.30m ・所々に径4cm以下の軽石や細礫を含む。			66
70	-25.88	69.40					64.70m以深 ・新鮮で褐色味が薄れる。 65.30m ・不明瞭な面構造。傾斜50°である。			70
72	-27.48	71.00		鷹架層上部層 (T3)	細粒砂岩	暗灰	・70.00m以深 ・漸移的に粗粒化し、極粗粒砂を主とする。最下部では細礫もわずかにみられる。 ・下端境界は、明瞭で傾斜30°である。			72
74	-30.48	74.00					71.00~74.00m ・細粒砂岩からなる。 ・葉理が認められ、傾斜は40°程度である。 ・マッドパイプが見られる。 ・73.15~74.00mは生物擾乱によって葉理が不明瞭である。			74



標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層 名	層相					
	43.72 43.48	0.26 0.50		盛土 礫混りシルト 有機質シルト		褐 黒褐	0.00~0.26mは造成に伴う埋戻し土からなる。 0.26~0.50mは土壌からなる。	6/5 朝 34.45m		
2		40.98		火山 灰層 (1m)	ローム	淡褐	0.50~3.00m ・ロームからなる。 ・2.20~2.50mは砂分を多く含む。			2
4	39.58 38.68	4.40 5.30		中位 堆積 層 (M1)	細礫 混り 砂	黄褐 褐	3.00~5.30m ・粗粒砂からなる。淘汰は良好である。石英粒子が目立つ。 ・4.10~4.40mに傾斜8°の不明瞭な葉理。 ・4.40~5.30mは不均質でシルト分を含む。 ・4.90m付近に細礫含む。		4	
6	38.11 37.08 36.78	5.87 6.90 7.20		六ヶ 所層 (R)	シルト	赤褐 灰	5.30~7.20m ・シルトからなる。下端境界凸凹している。 ・所々にブロック状の砂の密集部あり。 ・5.87m以浅は褐色に酸化している。		6	
8	34.74 34.38	9.24 9.60			粗粒 砂	褐	7.20~9.60m ・淘汰の悪い粗粒砂からなる。 ・生物擾乱が著しくブロック化したシルトが不規則に混入する。 ・9.24~9.60mに径1cm以下の礫を含む。		8	
10	32.73 32.53 32.11	11.25 11.45 11.87		砂混り シルト	細粒 砂	暗褐	9.60~11.45m ・主に塊状な細~中粒砂からなる。 ・不明瞭ながら葉理の傾斜は概ね水平である。 ・10.00~10.10mにサンドパイプ状の細粒部あり。 ・11.25~11.45mに細礫を含む。 ・下端境界5°程度である。		10	
12	30.43 29.42	13.55 14.56			礫混り 砂	淡褐 淡灰	11.45~14.56m ・主に礫混り砂からなり、シルト、礫などを挟む。 ・径3cm以下の灰白色泥岩からなる角~亜円礫を含む。 ・葉理の傾斜は5°以下である。 ・基底に径25cmの安山岩円礫あり。		12	
14	26.98	17.00		砂子 又層 下部 層 (S1)	粗粒 砂岩	暗褐 黄褐	14.56~20.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は15~25°程度である。		14	
16									16	
18									18	
20									20	

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
22	21.20	22.78			粗粒砂岩	黄褐	20.00~40.00m ・淘汰の良い粗粒砂岩からなる。 ・凝灰質砂岩、シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は30~50°程度のものが多い。			22
	20.78	23.20				黄褐	22.78~23.20m ・凝灰質砂岩からなる。 ・上下端の傾斜は30°程度である。 23.20~23.55m ・凝灰質砂岩が薄層をなし、互層状を呈する。 傾斜20°程度である。			24
24						暗褐				26
26										28
28										30
30	12.48	31.50								32
32	11.38	32.60				灰褐	31.50~32.60m ・酸化によりやや褐色味を帯びる。			34
34								6/5 朝 34.45m 		36
36						褐灰				38
38										40



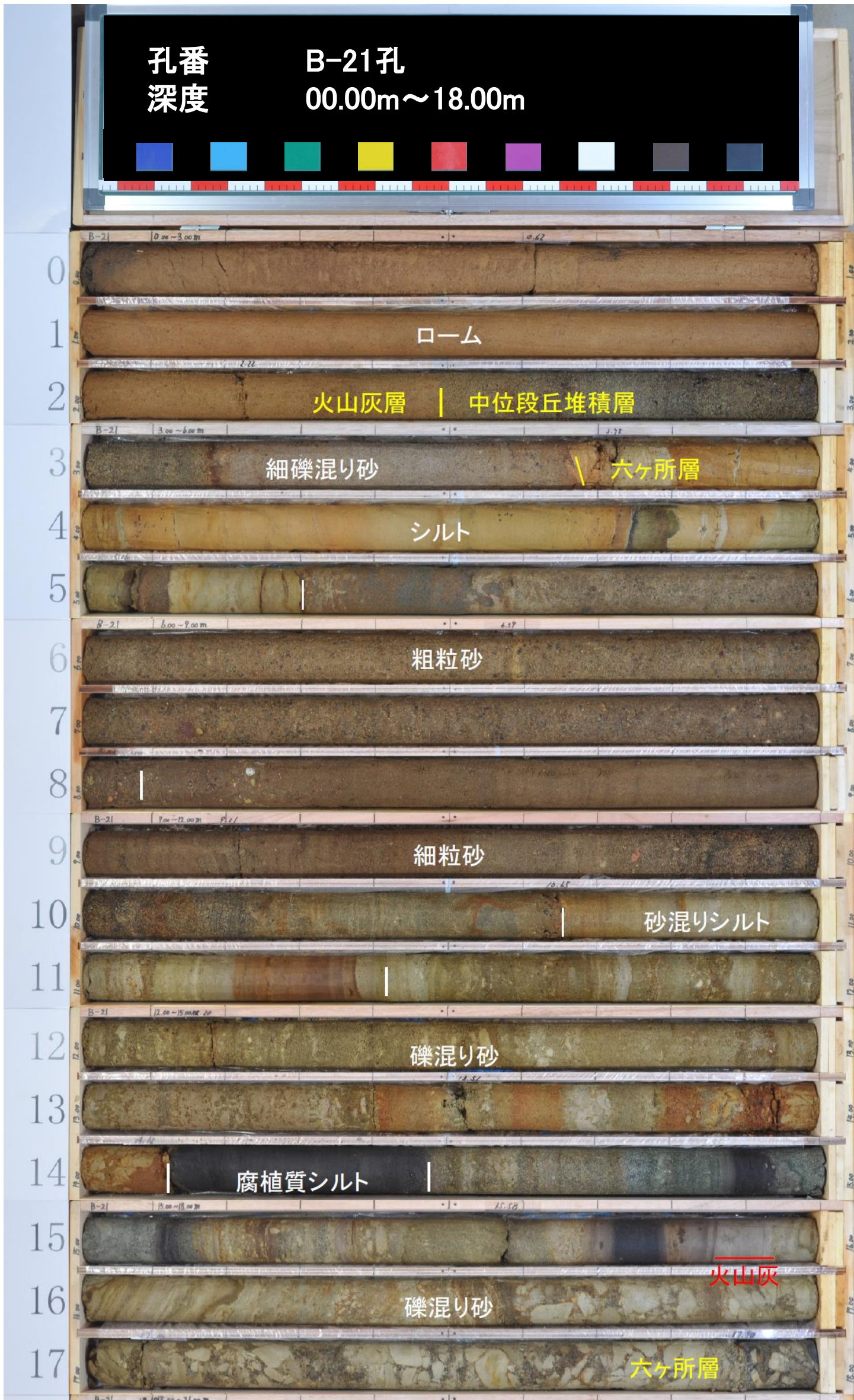
標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m				
				地層名	層相									
42	1.73	42.25		粗粒砂岩		褐灰	40.00~60.00m ・主に粗粒砂岩からなる。淘汰はやや良好である。 ・凝灰質砂岩、シルト岩の薄層を挟む。 ・葉理の傾斜は40~50°程度のものが多い。			42				
	1.02	42.96				暗褐	42.25~42.96m ・わずかに細礫を含む。							
44	0.33	43.65				黄褐	42.96~43.65m、44.15~44.74m ・凝灰質砂岩からなる。 ・葉理の傾斜は40°程度である。			44				
	-0.17	44.15				褐灰								
	-0.76	44.74				黄褐	44.15m ・凝灰質砂岩と粗粒砂岩の境界は平滑で60°傾斜している。 ・面は酸化褐色化し固結している。							
46						粗粒砂岩				黄褐灰	44.74~47.70m ・中粒砂岩からなる。 ・所々に葉理が認められ、傾斜は45°程度である。			46
	-3.72	47.70		黄褐	47.70~48.42m ・中粒砂岩と凝灰質砂岩の細互層からなる。 ・傾斜は45°程度である。									
48	-4.44	48.42		シルト岩				暗灰	48.42~49.57m ・シルト岩からなり、砂岩薄層と細互層をなす。 ・葉理の傾斜は45°程度である。 ・下端境界は40°程度である。					48
	-5.59	49.57						暗灰	49.57~60.00m ・塊状、無層理な粗粒砂岩からなる。 ・50.00~50.50mは葉理がみられる。葉理の傾斜は45°程度である。 ・51.95mに傾斜65°の明瞭な層相境界があり、以深は塊状、無層理な中粒砂岩を主体とし、54.50m付近で粗粒砂岩に漸移する。					
50				粗粒砂岩				暗黄灰	59.00m付近より深部では、風化の影響が弱まり、褐色味がなくなる。					50
	-7.97	51.95						暗黄灰						
52				粗粒砂岩		暗黄灰				52				
	-15.02	59.00				暗黄灰								
54				粗粒砂岩		暗黄灰				54				
						暗黄灰								
56				粗粒砂岩		暗黄灰				56				
						暗黄灰								
58				粗粒砂岩		暗黄灰				58				
						暗黄灰								
60				粗粒砂岩		暗褐灰				60				
						暗褐灰								

B-23孔 孔口標高 43.98m 鉛直 67m  
 4/4 X=103357.28 Y=42220.40

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 孔内 水位	測定 月日	試料採取	標尺 m
				地層名	層相					試料名/ 採取深度	
	-17.62	61.60		砂 下 部 又 層 (S1)	粗粒 砂岩	暗 褐 灰	60.00~61.60m ・塊状、無層理な粗粒砂岩からなる。 ・下部ほど粗粒である。 ・下位との境界は明瞭で傾斜45°である。				62
62	-17.87	61.85					暗 褐	61.60~67.00m ・細粒砂岩からなる。 ・葉理が認められ、傾斜は45~50°程度である。 ・マッドパイプがみられる。			
				鷹架層 上部層 (T3)	細粒 砂岩	暗 灰	・61.60~61.85m、62.20~62.60mは酸化褐色化し、 62.60m以深は新鮮である。				64
	-23.02	67.00									66

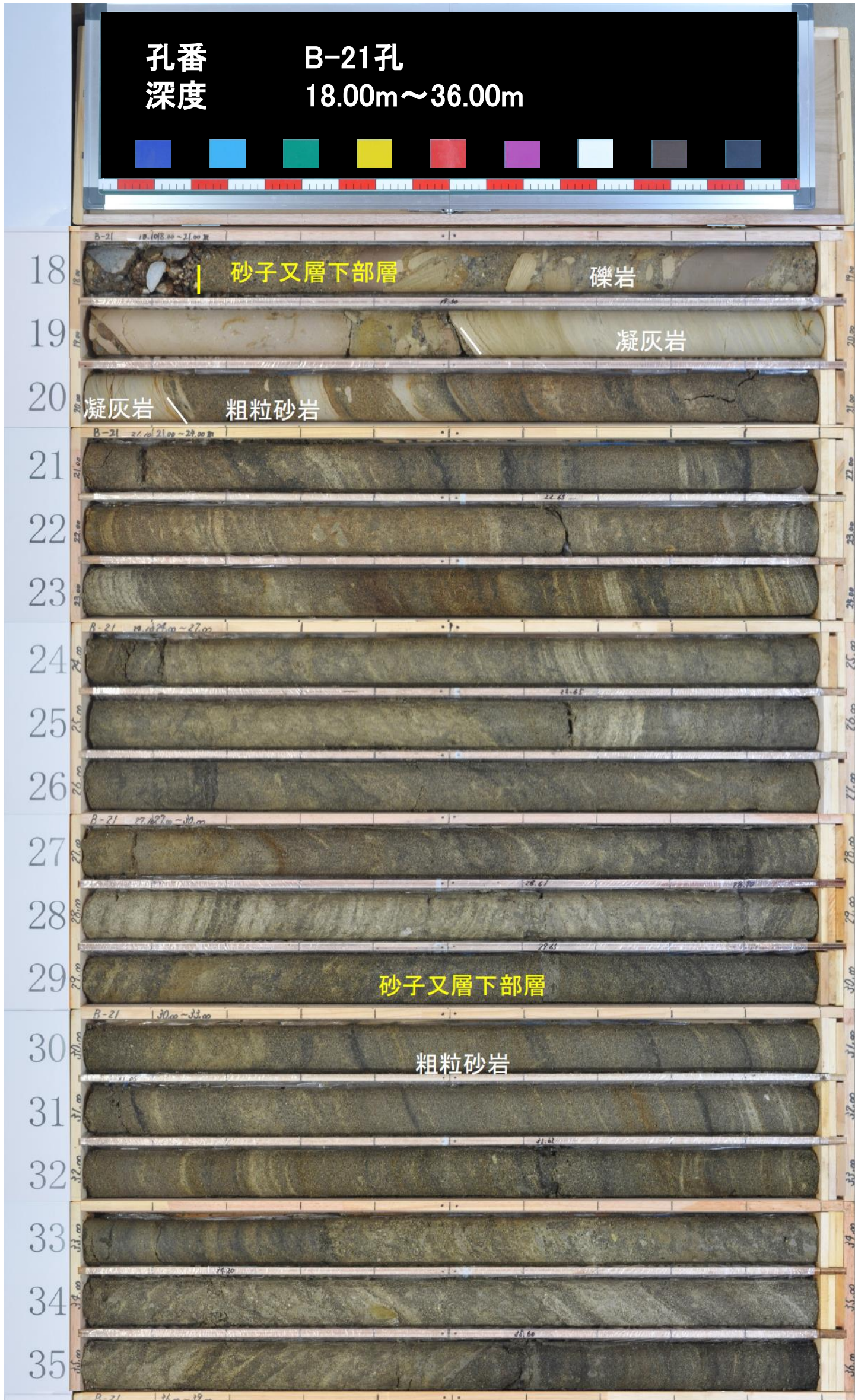


B-21孔 1/6 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
X=103362.44 Y=42265.07



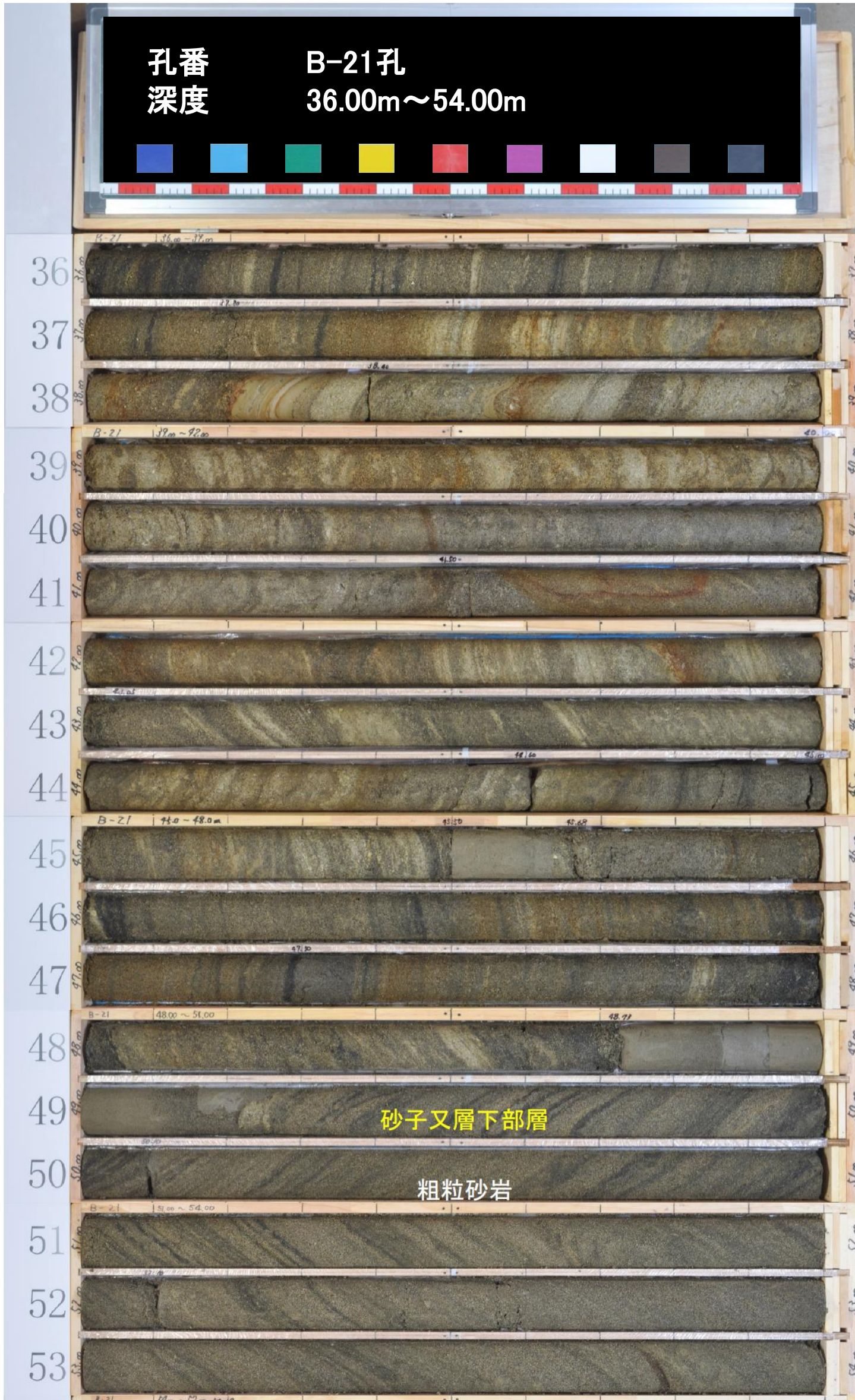


B-21孔 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
2/6 X=103362.44 Y=42265.07





B-21孔 3/6 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
X=103362.44 Y=42265.07





B-21孔 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
4/6 X=103362.44 Y=42265.07



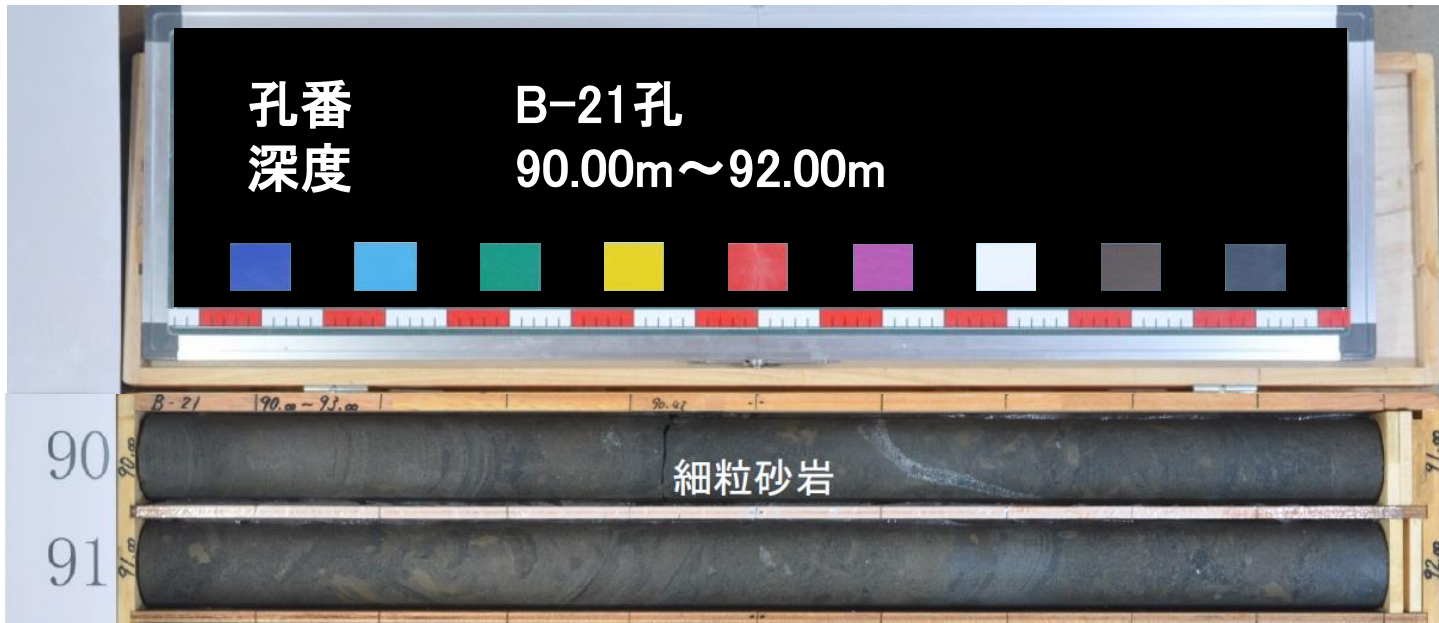


B-21孔 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
5/6 X=103362.44 Y=42265.07



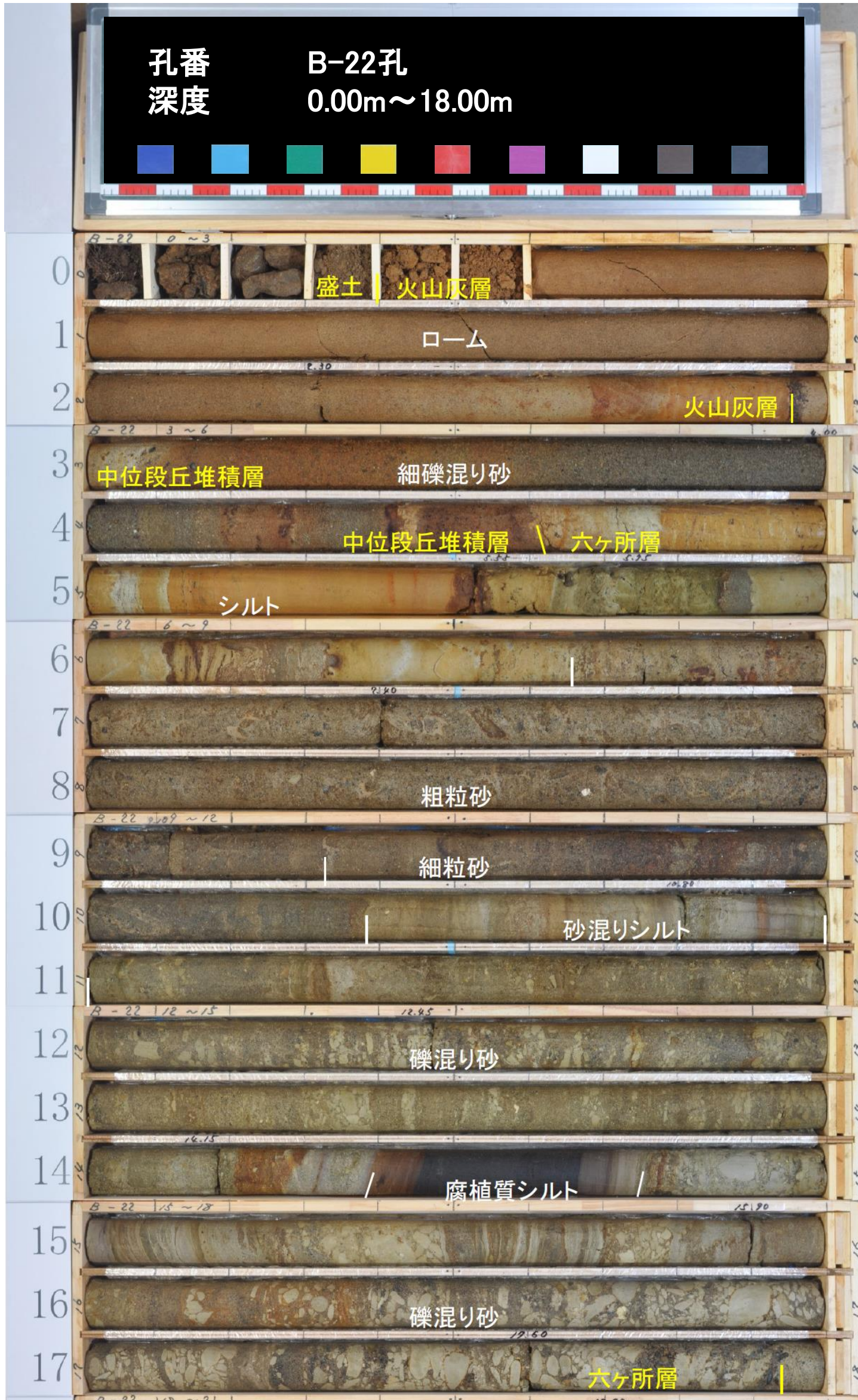


B-21孔 孔口標高 42.53m 鉛直 92m  
6/6 X=103362.44 Y=42265.07



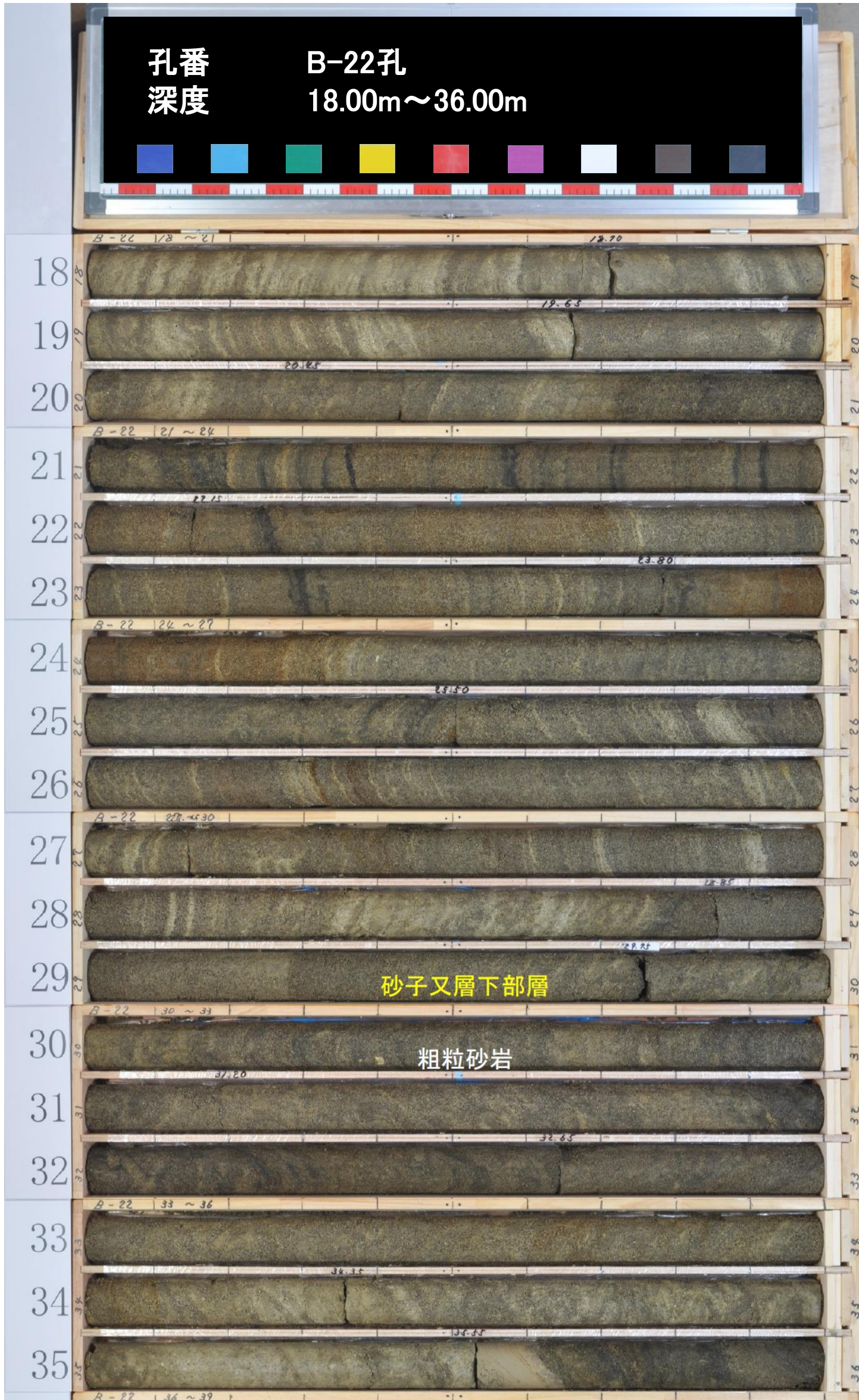


B-22孔 1/5 孔口標高 43.52m 鉛直 74m  
X=103360.35 Y=42238.73





B-22孔 孔口標高 43.52m 鉛直 74m  
2/5 X=103360.35 Y=42238.73





B-22孔 3/5 孔口標高 43.52m 鉛直 74m  
X=103360.35 Y=42238.73



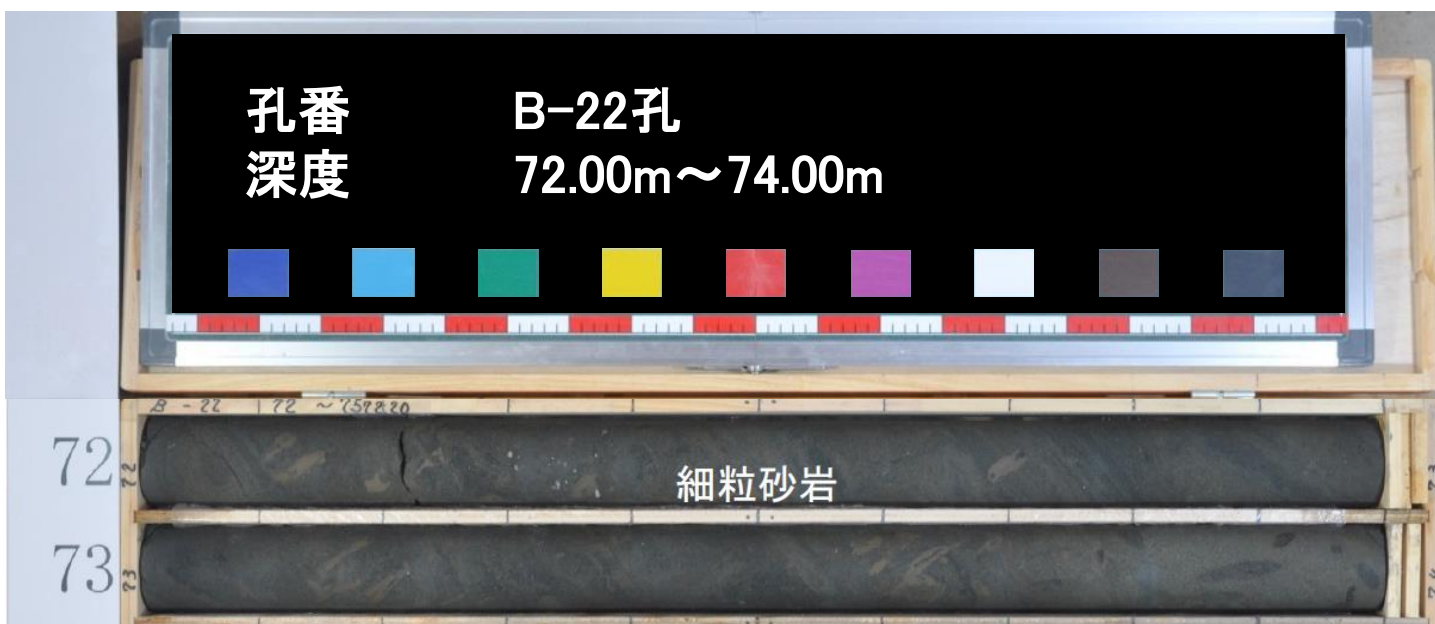


B-22孔 4/5 孔口標高 43.52m 鉛直 74m  
X=103360.35 Y=42238.73



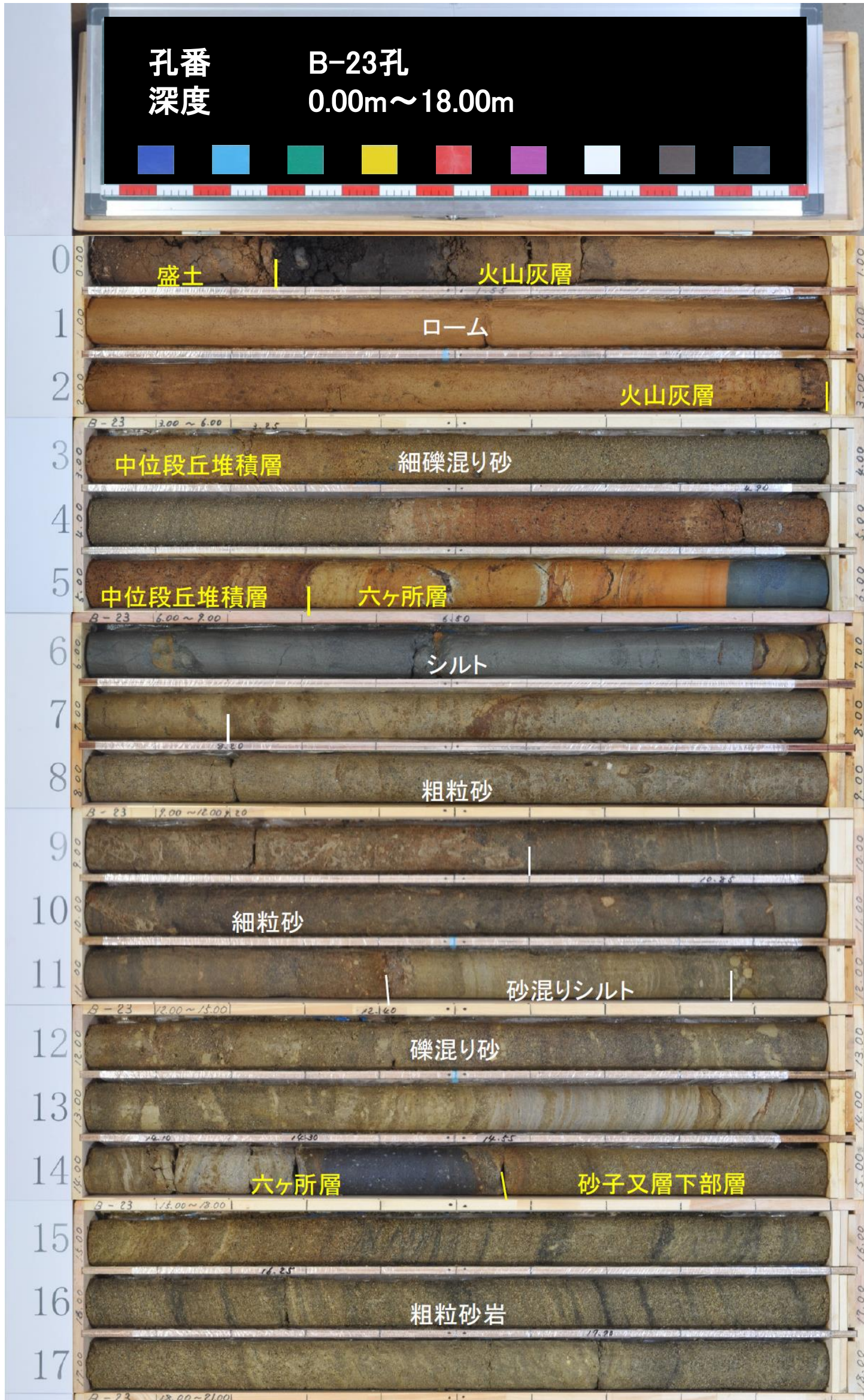


B-22孔 5/5 孔口標高 43.52m 鉛直 74m  
X=103360.35 Y=42238.73



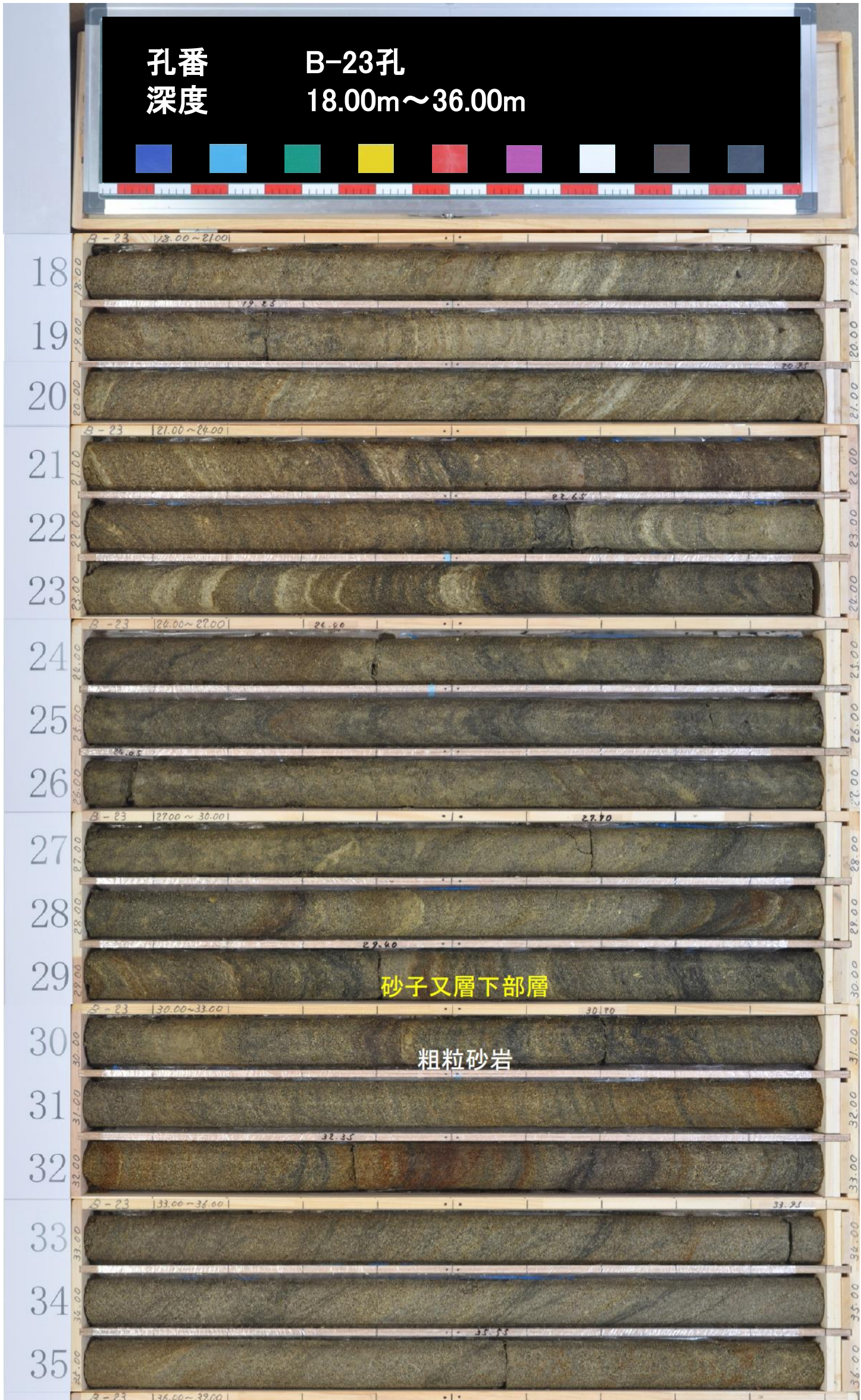


B-23孔 1/4 孔口標高 43.98m 鉛直 67m  
X=103357.28 Y=42220.40





B-23孔 孔口標高 43.98m 鉛直 67m  
2/4 X=103357.28 Y=42220.40



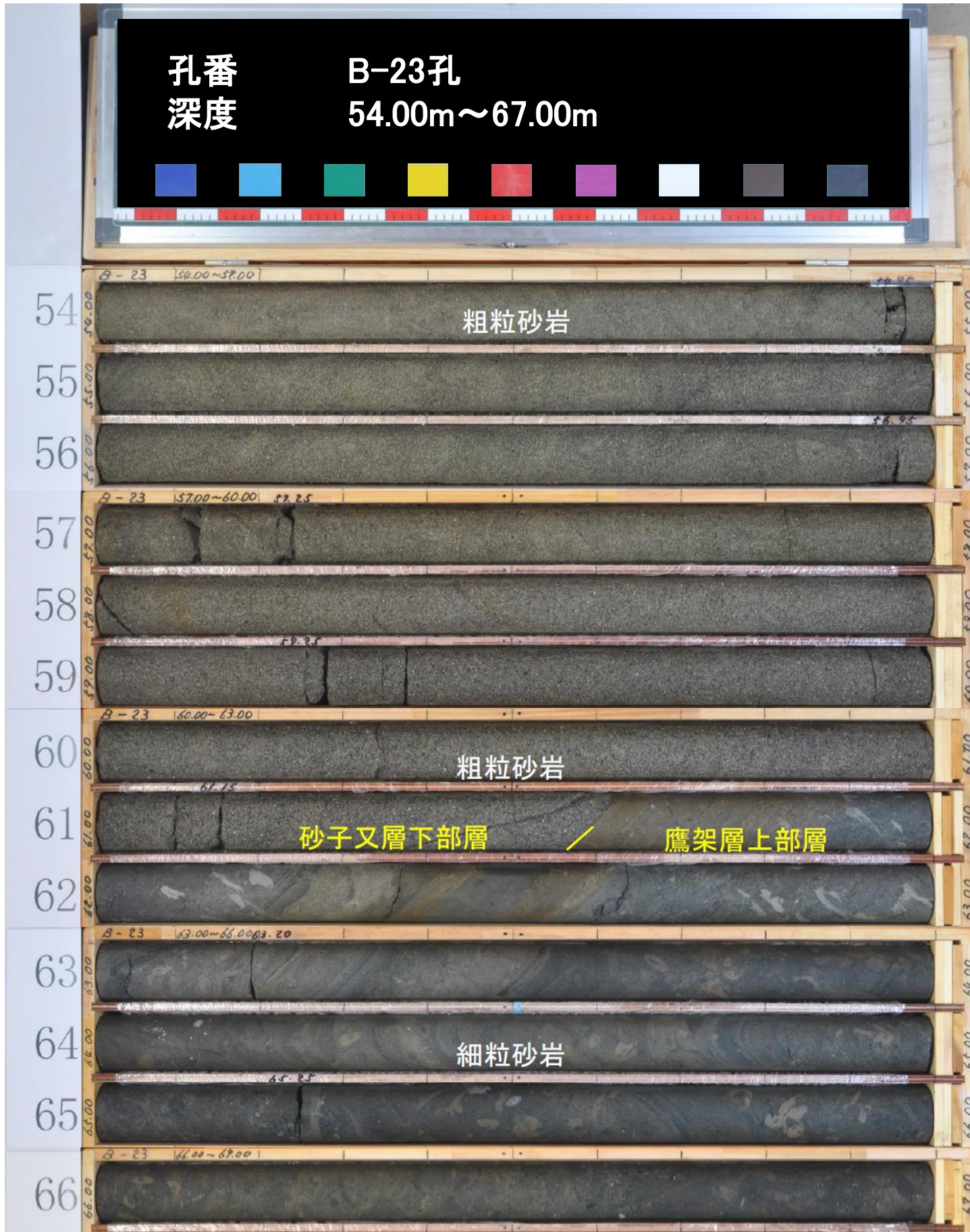


B-23孔 3/4 孔口標高 43.98m 鉛直 67m  
X=103357.28 Y=42220.40



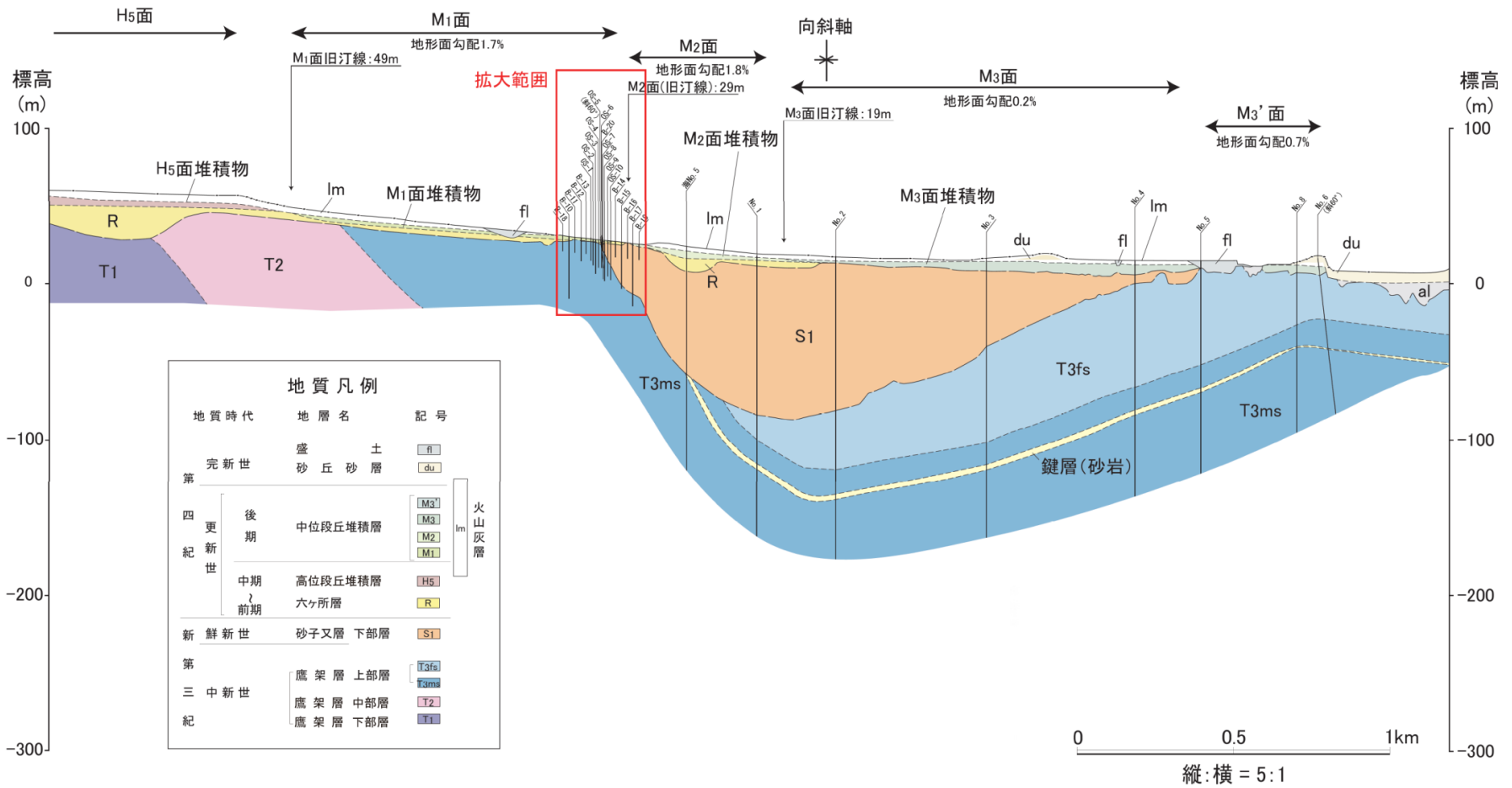


B-23孔 孔口標高 43.98m 鉛直 67m  
4/4 X=103357.28 Y=42220.40

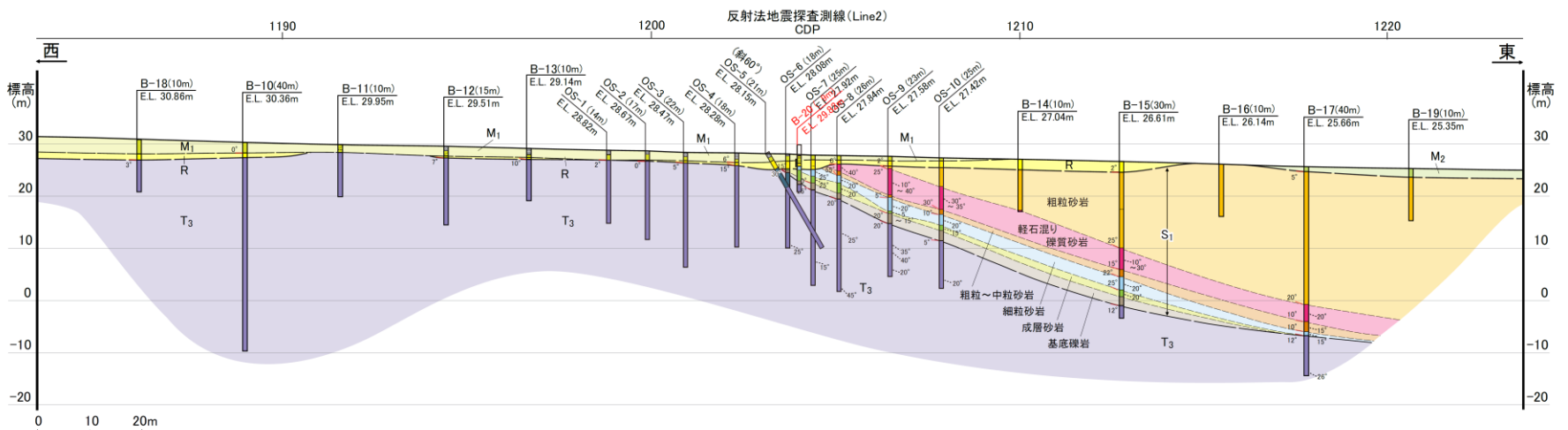




# 出戸西方断層南方（尾駮沼南岸） ボーリング位置図



※ボーリング位置は主要なもののみを示している。  
 ※※展示コアは鍵層から数m以深まで。



地質時代	層相	特徴	地質区分
第四紀	砂 / シルト混り砂	主に淘汰の良い海成砂層。	中段丘堆積層 (M2)
	シルト / 砂質シルト	湿地堆積物など非海成相。	中段丘堆積層 (M1)
	砂 / シルト混り砂	主に淘汰の良い海成砂層。	
新鮮新世	砂 / シルト質砂	段丘堆積層と比べて、風化により褐色味を帯びる。	六ヶ所層 (R)
	粗粒砂岩	塊状無層理であり、細礫が散在する。	砂子又層下部層 (S1)
軽石混り礫質砂岩	軽石を多く含み、細角礫の礫支持相を示す。		
粗粒～中粒砂岩	軽石が散在し、所々細円礫を含む。		
細粒砂岩	上方細粒化しており最上部は一部シルト岩。下半部は葉理。		
第三紀	成層砂岩	軽石を含む中粒～粗粒砂岩。平行葉理が認められる。	鷹架層上部層 (T3)
	基底礫岩	鷹架層の泥岩礫を含み、基質支持相を示す。	
中新世	極細粒砂岩	海底堆積物	
	泥岩		

25° 単層境界 (層理面) の傾斜      25° 内部構造 (葉理・挟み層など) の傾斜



B-18孔 孔口標高 30.86m 鉛直 10m  
 X=105307.067 Y=43241.186

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
2	28.13	2.73		中位段丘堆積層 (M1)	砂	灰	0.00~2.73m - 淘汰の良い中粒砂からなる。	07/23 0.55m		2
4	26.90	3.96		六ヶ所層 (R)	シルト混り細粒砂	褐灰 黄灰~褐	2.73~3.96m - 淘汰の悪いシルト混り細粒砂からなる。 - 所々細円礫を含む。 - 下半部にほぼ水平な葉理がみられ、風化により褐色味を帯びる。			4
6				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗緑灰	3.96~10.00m - 塊状無層理の泥岩からなる。 - 上位層との境界は傾斜約3°の明瞭な不整合面であり、巣穴状の生痕がみられる。			6
8										8
10	20.86	10.00								10



標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m	
				地層名	層相						
2	28.31	2.05		中位段 堆積層 (Mi)	砂	灰	0.00~2.05m - 淘汰の良い中粒砂からなる。 - 下位層との境界はほぼ水平な不整合面である。	07/23 1.12m		2	
4	27.45	2.91		六ヶ所 層(R)	シルト混り 細粒砂	暗褐 黄灰 ~ 褐	2.05~2.91m - 淘汰の悪い細粒砂からなる。 - 所々細円礫を含む。 - 風化により褐色化が顕著である。			4	
6				鷹架層 上部層 泥岩層 (Tms)	泥岩	暗緑灰	2.91~40.00m - 塊状無層理の泥岩からなる。 - 上位層との境界は不整合面であり、凹凸している。 - 表層は風化により軟質化している。			6	
10						暗緑灰					10
12						灰			- 16.84~16.98m 凝灰岩を挟む。		
14						暗緑灰				14	
16										16	
18										18	
20										20	



B-10孔 2/2 孔口標高 30.36m 鉛直 40m  
 X=105297.776 Y=43260.159

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
22							2. 91~40. 00m ・塊状無層理の泥岩からなる。		22	
24										24
26										26
28										28
30				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗緑灰				30
32										32
34										34
36										36
38										38
40	-9.64	40.00								40



B-11孔 孔口標高 29.95m 鉛直 10m  
X=105289.597 Y=43277.080

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m				
				地層名	層相									
	28.95	1.00		中位堆積層 段丘 (Mi)	シルト混り砂	灰	0.00~1.50m ・0.00~1.00m シルト混り砂からなる。 ・1.00~1.50m 中粒砂からなる。	07/21 0.65m						
	28.45	1.50			砂									
2				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	黄灰 ~ 褐	1.50~10.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。 ・1.50~2.17m 風化により黄灰~褐色を呈し、 軟質化している。			2				
4										暗緑灰				4
6														6
8														8
10	19.95	10.00												10

B-12孔 孔口標高 29.51m 鉛直 15m  
X=105280.319 Y=43295.972

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m					
				地層名	層相										
	28.73	0.78		中位堆積層 段丘 (Mi)	シルト	灰	0.00~0.78m ・シルトからなる。 ・0.00~0.23m 道路脇側溝の埋戻し土からなる。	07/18 0.30m							
	27.61	1.90			砂										
2	27.27	2.24		六ヶ所 層 (R)	シルト混り砂	褐灰 黄灰 ~ 褐	1.90~2.24m ・シルト混り細粒砂からなる。 ・下位層との境界は凹凸し、傾斜約7°の明瞭な不整合面である。 2.24~15.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。 ・境界は風化により軟質化している。			2					
4				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗緑灰							4		
6															6
8															8
10												灰	- 9.06~9.52m ノジュールがみられる。		10
12												暗緑灰			
14	14.51	15.00													14



B-13孔 孔口標高 29.14m 鉛直 10m  
X=105273.215 Y=43310.660

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m		
				地層 名	層相							
	29.94	0.20		中位段丘 堆積層 (M)	砂質シルト	灰	0.00~0.20m - 埋戻し土からなる。 0.20~1.23m - 砂質シルトからなる。 1.23~1.64m - 砂からなる。 1.64~2.14m - 淘汰の悪いシルト混り砂からなる。 - 風化により褐色味を帯びる。 2.14~10.00m - 塊状無層理の泥岩からなる。 - 上位層との境界は明瞭な不整合面であり、傾斜約10°を示す。 - 表層は風化により軟質化している。 - 4.75~5.40m 硬質なノジュールがみられる。	07/21 0.30m				
	27.91	1.23			シルト	灰						
	27.50	1.64			シルト 混り砂	灰褐 黄灰						
2	27.00	2.14		大分所 層(R)								
4				鷹架層上部層泥岩層 (I3ms)	泥岩	暗緑灰				4		
6						灰						6
8						暗緑灰						8
10	19.14	10.00										10

OS-1孔 孔口標高 28.82m 鉛直 14m  
X=105257.105 Y=43319.393

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m		
				地層 名	層相							
	28.09	0.73		中位段丘 堆積層 (M)	シルト	黄灰 淡褐灰	0.00~0.73m - 塊状無層理のシルトからなる。 0.73~1.29m - 淘汰の良いシルト質砂からなる。 - 上方細粒化を呈する。 1.29~1.88m - 淘汰の良い中粒砂からなる。 - 上方細粒化を呈する。 1.88~14.00m - 塊状無層理の泥岩からなる。 - 上位層との境界は明瞭な不整合面であり、傾斜約2°を示す。 - 2.33~2.66m 径0.1~0.3cmの灰色軽石を所々で含む。  - 6.50~9.90m付近 パッチ状に軽石を含む。  - 8.48~8.64m 径0.2~0.5cmの灰~灰白色軽石の濃集部がみられる。  - 11.28~11.85m ノジュールがみられる。  - 12.72~12.74m 灰色凝灰岩をブロック状に含む。	06/17 0.85m				
	27.53	1.29			シルト質 砂	淡灰						
2	26.94	1.88			砂	灰						
4				鷹架層上部層泥岩層 (I3ms)	泥岩	暗黄灰				4		
6						暗灰						6
8						暗灰						8
10						暗灰						10
12						灰				12		
14	14.82	14.00				暗灰				14		



OS-2孔 孔口標高 28.67m 鉛直 17m  
 X=105250.400 Y=43332.811

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m		
				地層名	層相							
	28.07	0.60		中位段丘 (M)	シルト	黄灰	0.00~0.60m ・塊状無層理のシルトからなる。 0.60~1.77m ・細互層状を呈するシルト質砂からなる。 ・下半部は腐植質を呈する。 1.77~1.97m ・淘汰の悪い砂からなる。 ・チャートや安山岩の亜円礫を含む。 1.97~17.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。 ・4.81~6.60m 径0.2~0.5cmの白色軽石を含む。 ・上位層との境界は明瞭な不整合面であり、凹凸しつつ傾斜約5°を示す。  - 11.98~12.02m 白色細粒凝灰岩を挟む。   - 15.60~15.71m 灰色凝灰岩を挟む。	06/23 0.85m				
	26.90 26.70	1.77 1.97			シルト質砂	黒褐 灰 黄褐						
2					砂						2	
4				腐架層上部層泥岩層 (Tms)	泥岩	暗灰				4		
6												6
8												8
10												10
12												12
14									14			
16						灰 暗灰				16		
	11.67	17.00										



OS-3孔 孔口標高 28.47m 鉛直 22m  
 X=105253.753 Y=43326.103

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m		
				地層名	層相				試料名/ 採取深度			
	27.60	0.87		中位段丘 堆積層 (M1)	シルト	黄灰 黒褐	0.00~0.87m ・塊状無層理のシルトからなる。 ・下半部は腐植質を呈する。	06/21 1.15m				
2	26.90	1.57		六ヶ所 層(砂)	シルト質 砂	灰 黄灰	0.87~1.57m ・細互層状を呈するシルト質砂からなる。 ・下位層との境界は漸移的である。			2		
	26.45	2.02			砂	黄灰	1.57~2.02m ・淘汰の悪い砂からなる。 ・チャートや安山岩の亜円礫を含む。					
4				應架層上部層泥岩層 (Tms)	泥岩	暗灰	2.02~22.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。 ・上位層との境界は明瞭な不整合面であり、凹凸しつ傾斜約5°を示す。		4			
6												6
8												8
10												10
12												12
14												14
16										・14.81~17.55m付近 径0.2~1.5cmの灰~灰白色軽石を含む。 ・18.88~18.93m 細粒凝灰岩を挟む。		16
18												18
20										2.02~22.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。		20
22	6.47	22.00										22



OS-4孔 孔口標高 28.28m 鉛直 18m  
 X=105245.930 Y=43341.757

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m		
				地層名	層相				試料名/ 採取深度			
				中堆積層 丘(M)	シルト	灰白 黄灰	0.00~1.22m - 塊状無層理のシルトからなる。 - 下半部は腐植質を呈する。	06/21 0.00m				
2	27.04	1.22		六ヶ所 層(M)	シルト質 砂	黒褐	1.22~1.86m - 淘汰の悪い腐植質シルト質砂からなる。			2		
	26.40	1.86			砂	灰	1.86~2.46m - 粗粒砂からなる。 - チャート等の細円礫を含む。					
	25.80	2.46				淡黄 黒褐						
4				鷹架層上部層泥岩層 (Tms)	泥岩	暗灰	2.46~18.00m - 塊状無層理の泥岩からなる。 - 上位層との境界は傾斜約15°の明瞭な不整合面である。			4		
6												6
8												8
10												10
12							- 11.12m付近 径0.1~0.2cmの灰色軽石を含む。			12		
14							- 12.98~13.00m 径2cmの灰色軽石を含む。			14		
16							- 15.77m付近 径0.5cmの白色軽石を含む。			16		
18	10.26	18.00								18		









B-20孔 孔口標高 29.82m 鉛直 9m  
 X=105235.69 Y=43350.37

標尺 m	標高 E.L. m	深度 m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取	標尺 m	
				地層 名	層 相				試料名/ 採取深度		
	28.92	0.90		火山 灰層 (Im)	黒ボク	黒	0.00~0.90m ・黒ボクからなる。 0.90~2.10m ・いわゆるロームからなる。 下方ほど砂分が多い。	5/13 朝 3.95m 	トリプルサンプリング 別孔 		
2	27.72	2.10		ローム	淡褐	0.90~1.10m ・十和田八戸火山灰 (To-H) を挟む。					
	27.42	2.40		中 堆積 層丘 (M1)	砂質シルト	褐	2.10~2.40m ・砂質シルトからなる。 2.40~3.53m				
	27.27	2.55		砂	灰褐	2.40~3.53m					
4	26.29	3.53		(R)シルト質砂	灰白	・やや淘汰の悪い中粒~粗粒砂からなる。 ・白色シルトの薄層を挟み、葉理がみられる。 ・葉理の傾斜は水平~5°程度である。 ・下端傾斜15°程度である。					
	25.72	4.10		砂子 又層 下部 層 (S1)	細粒砂岩	灰白	3.53~4.10m				
	25.01	4.81		成層砂岩	淡褐	・淘汰の悪いシルト質砂からなる。塊状である。 ・径25mm以下の扁平した安山岩円礫を含む。 ・下端傾斜はほぼ水平である。					
6	23.07	6.75		基底礫岩	緑灰	4.10~4.81m					
	22.28	7.54		泥岩	黒灰	・極細粒な砂岩からなる。 ・不明瞭な葉理がみられ、傾斜30~35°である。 ・下端傾斜27°である。					
8	20.82	9.00		鷹架層 上部層 泥岩層 (T3ms)	泥岩	黒灰	4.81~6.75m				
							6.75~7.54m				
10							・淘汰の悪い礫混り砂岩からなる。 ・最大径17cmの青緑灰色泥岩礫を含む。 ・基質は黒色安山岩、泥岩、透明鉱物などからなる粗粒砂を主体とする。 ・下端傾斜30°である。				
12							7.54~9.00m				
							・泥岩からなる。 ・塊状・無層理である。				

OS-7孔 孔口標高 27.92m 鉛直 25m  
 X=105239.225 Y= 43355.175

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
	27.02	0.90		中位段 堆積層 (M1)	シルト 混り砂	黄灰	0.00~0.90m -シルト混り砂からなる。 -細粒砂と粗粒砂の互層を呈し、所々に礫を含む。	06/30 1.90m		
2	25.73	2.19		六ヶ所層 (R)	砂	黄灰 褐灰	0.90~2.19m -粗粒砂からなる。 -傾斜10°前後の葉理がみられる。			2
	25.18	2.74			シルト質 砂		2.19~2.74m -淘汰の悪いシルト質砂からなる。 -下位層との境界は明瞭な不整合面である。			
4	23.39	4.53		砂子又層 下部層 (S)	細粒砂岩	淡黄灰	2.74~4.53m -細粒砂岩からなる。 -傾斜25°前後の葉理がみられる(3.59m以浅は塊状 無層理)。		4	
	24.91	5.34			成層砂岩	褐	4.53~5.34m -細粒砂岩からなる。 -傾斜25°前後の平行葉理が見られる。			
6	25.10	6.65		基底礫岩 (Si)	基底礫岩	褐 褐灰 灰	5.34~6.65m -風化した磨架層の巨礫を多く含む礫岩からなる。 -下位の磨架層との境界は、傾斜約25°の明瞭な不 整合面である。		6	
8				磨架層上部層 泥岩層 (Tms)	泥岩	暗灰	6.65~25.00m -塊状無層理な泥岩からなる。 -7.03~7.96m、8.55~9.38m、9.90m、12.16~ 15.43m 暗灰色軽石を含む。 -9.73m 幅0.5cm程度の灰色細粒凝灰岩を挟む。		8	
10						灰				10
12									12	
14									14	
16									16	
18							- 17.07~17.12m 灰白色細粒凝灰岩を挟む。		18	
20							6.65~25.00m -塊状無層理な泥岩からなる。 - 20.24~20.47m 細粒砂岩を挟む。		20	
22									22	
24							- 23.54m以深 砂分を含む。		24	
	2.92	25.00								



OS-8孔 孔口標高 27.84m 鉛直 26m  
 X=105236.990 Y=43359.648

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日 最終 孔内 水位	試料採取	標尺 m
				地層 名	層 相				試料名/ 採取深度	
	26.99	0.85		中位 丘陵 層 (M)	シルト 混り砂	黄褐	0.00~0.85m ・淘汰の良い中粒砂からなる。 ・シルト薄層を挟む。	06/27 1.60m		
2	26.22	1.62		六ヶ所 層 (R)	砂	赤褐			0.85~1.62m ・粗粒~中粒砂からなる。 ・下位層との境界は明瞭な不整合面であり、ほぼ水平である。	
	24.90	2.94		砂子又層下部層 (S1)	軽石混り 礫質砂岩	黄褐	1.62~2.94m ・軽石を多く含む礫質砂岩からなる。 ・傾斜40°前後の葉理がみられる。 2.94~3.81m ・中粒砂岩からなる。 ・軽石が散在し、所々細円礫を含む。 ・下位層とは傾斜約55°で接する。 3.81~6.32m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる (5.26m以浅は塊状無層理)。 6.32~7.23m ・軽石を含む粗粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる。 7.23~8.32m ・風化した鷹架層の巨礫を含む礫岩からなる。 ・下位の鷹架層との境界は、傾斜約20°の明瞭な不整合面である。 8.32~26.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・9.50m、11.21m、12.78~14.95m 灰白色軽石が点在する。  ・17.36~17.43m 灰色細粒凝灰岩を挟む。  8.32~26.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・20.82~20.90m 細粒砂岩を挟む。  ・22.85~24.87m 細粒砂岩を挟む。			
4	24.03	3.81			中粒砂岩	褐				
	21.52	6.32			細粒砂岩	淡黄灰				
6	20.61	7.23			成層砂岩	黄褐				
	19.52	8.32			基底礫岩	赤褐				
8					基底礫岩	暗灰 黒褐				
10										
12										
14			鷹架層上部層泥岩層 (Tams)	泥岩	暗灰					
16										
18										
20										
22										
24										
26	1.84	26.00								

OS-9孔 孔口標高 27.58m 鉛直 23m  
 X=105232.520 Y=43368.594

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m		
				地層名	層相				試料名/ 採取深度			
	26.79	0.79		中位段 丘陵層(M)	シルト 混り砂	黄灰 褐灰 赤褐	0.00~0.79m ・中粒砂からなる。 ・シルト薄層を挟む。					
2	25.79	1.79		六ヶ所 層(R)	砂	褐	0.79~1.79m ・淘汰が悪い粗粒砂からなる。 ・基底礫を伴う。					
	25.25	2.33			粗粒砂岩	黄褐	1.79~2.33m ・粗粒砂岩からなる。 ・下位層との境界は、傾斜約25°を示す。					
4				砂子又層下部層 (S)	軽石混り 礫質砂岩	褐 黄褐	2.33~7.34m ・軽石を多く含む礫質砂岩からなる。 ・傾斜約10°~40°の葉理がみられる。	5.00m ▽				
	20.24	7.34										
8	19.68	7.90					中粒砂岩		黄褐	7.34~7.90m ・中粒砂岩からなる。 ・軽石が散在し、所々細円礫を含む。 ・下位層との境界は、傾斜約5°を示す。		
							細粒砂岩		黄灰 黄褐	7.90~10.48m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる(9.30m以浅は塊状無層理)。		
10	17.10	10.48			成層砂岩	黄褐	10.48~10.89m ・軽石を含む粗粒砂岩からなる。 ・傾斜5°~15°の葉理がみられ、下位層とは傾斜約20°で接する。					
	16.69	10.89			基底礫岩	黄灰	10.89~12.77m ・風化した鷹架層の巨礫を含む礫岩からなる。 ・下位の鷹架層との境界は、傾斜約20°の明瞭な不整合面である。					
12	14.81	12.77				緑灰 暗褐						
14				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗黄灰 暗灰 黄灰 暗灰	12.77~23.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・13.87~16.65m 灰色軽石が点在する。 ・14.48~14.52m、15.73~15.83m、18.33~18.37m 細粒凝灰岩を挟む。					
16												
18										17.77~18.33m ノジュールがみられる。		
20										12.77~23.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・21.02~21.46m 細粒砂岩を挟む。		
22	4.58	23.00										



OS-10孔 孔口標高 27.42m 鉛直 25m  
 X=105234.511 Y=43378.603

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m
				地層名	層相				試料名/ 採取深度	
	26.87	0.55		中位段 丘堆積層(M)	シルト 混り砂	淡黄褐	0.00~0.55m ・シルト混り砂からなる。 ・シルト薄層を挟む。			
2	25.52	1.90		六ヶ所 層(R)	砂	褐~ 暗褐	0.55~1.90m ・淘汰の良い中粒砂からなる。 ・基底礫がみられる。			
4					粗粒砂岩	淡褐 黄褐	1.90~5.50m ・粗粒砂岩からなる。 ・下位層との境界は漸移的である。			
6	21.92	5.50					5.50~9.84m ・軽石を多く含む粗粒砂岩からなる。 ・傾斜約30°~35°の葉理がみられる。 ・下位層とは傾斜約30°で接する。	5.30m		
8				砂子又層下部層 (S1)	軽石混り 礫質砂岩	淡褐 黄褐				
10	17.58	9.84			中粒砂岩		9.84~10.87m ・軽石が散在する中粒砂岩からなる。 ・下位層とは傾斜約10°で接する。			
12	16.55	10.87			細粒砂岩	褐	10.87~12.90m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる(12.41m以浅は塊状無層理)。			
14	14.52	12.90			成層砂岩	淡黄白 淡橙白	12.90~13.83m ・軽石を含む粗粒砂岩からなる。 ・傾斜15°前後の葉理がみられる。			
14	13.59	13.83			基底礫岩	淡褐	13.83~15.88m ・風化した鷹架層の巨礫を含む礫岩からなる。 ・下位の鷹架層との境界は、傾斜約5°の明瞭な不整合面である。			
16	11.54	15.88								
18				鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗褐	15.88~25.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・16.20m付近、20.98~21.10m 凝灰質である。 ・16.87~18.00m 径0.5cmの軽石が点在する。			
20							15.88~25.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。 ・16.20m付近、20.98~21.10m 凝灰質である。			
22										
24										
	2.42	25.00								

B-14孔 孔口標高 27.04m 鉛直 10m  
 X=105230.662 Y=43398.482

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取	標尺 m				
				地層 名	層相					試料名/ 採取深度					
	26.34	0.70		盛土 (F1)	シルト混り砂	褐	0.00~0.70m ・埋戻土からなる。								
2	25.04	2.00		六ヶ所層 (R)	シルト混り砂	褐	0.70~2.00m ・淘汰が悪いシルト混り砂からなる。 ・所々細円礫を含む。 ・酸化により褐色味を帯びる。				2				
4				砂子又層下部層 (Si)	粗粒砂岩	暗灰	2.00~9.78m ・粗粒砂岩からなる。 ・下位層との境界は漸移的である。	7/21 6.54m			4				
6															6
8															
10	17.26 17.04	9.78 10.00					9.78~10.00m ・軽石を含む粗粒砂岩からなる。				10				
					軽石混り砂岩	暗褐灰									

B-15孔 1/2 孔口標高 26.61m 鉛直 30m  
 X=105221.959 Y=43416.553

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取	標尺 m				
				地層 名	層相					試料名/ 採取深度					
	25.96	0.65		盛土 (F1)	砂	暗褐灰	0.00~0.65m ・埋戻土からなる。								
2	24.56	2.05		六ヶ所層 (R)	砂	暗褐灰	0.65~2.05m ・淘汰の悪い細粒~中粒砂からなる。 ・基底礫がみられる。 ・下位層とは傾斜約2°で接する。				2				
4				砂子又層下部層 (Si)	粗粒砂岩	暗灰	2.05~16.54m ・粗粒砂岩からなる。 ・所々礫を含む。 ・下位層との傾斜約25°で接する。	7/19 10.00m			4				
6															6
8															
10											10				
12											12				
14						暗褐灰					14				



B-15孔 2/2 孔口標高 26.61m 鉛直 30m  
 X=105221.959 Y=43416.553

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取	標尺 m			
				地層 名	層 相				試料名/ 採取深度				
16	10.07	16.54		砂子又層下部層 (S1)	軽石混り 礫質砂岩	黄灰	16.54~20.62m ・軽石を多く含む礫質砂岩からなる。 ・傾斜10°~30°の葉理がみられる。 ・下位層とは傾斜約15°で接する。			16			
18		暗褐灰				18							
20		黄灰				20							
22	5.99	20.62			軽石混り 礫質砂岩	黄灰	16.54~20.62m ・軽石を多く含む礫質砂岩からなる。 ・傾斜10°~30°の葉理がみられる。 ・下位層とは傾斜約15°で接する。			22			
24	4.56	22.05			粗粒砂岩	黄灰	20.62~22.05m ・粗粒砂岩からなる。 ・軽石が散在し、所々細礫を含む。 ・下位層とは傾斜約22°で接する。			24			
26	2.06	24.55			細粒砂岩	黄灰	22.05~24.55m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる。 ・下位層とは傾斜約25°で接する。			26			
28	0.78	25.83			成層砂岩	黄褐	24.55~25.83m ・軽石を含む粗粒砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる。			28			
30	-0.95	27.56			基底礫岩	黄灰	25.83~27.56m ・鷹架層の巨礫を含む粗粒砂岩からなる。 ・下位の鷹架層との境界は、傾斜約12°の明瞭な不整合面である。			30			
	-3.39	30.00			鷹架層上部層 (Tams)	泥岩	暗褐灰			27.56~30.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。			

B-16孔 孔口標高 26.14m 鉛直 10m  
 X=105213.226 Y=43434.153

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取	標尺 m
				地層 名	層 相				試料名/ 採取深度	
2				砂子又層下部層 (S1)	砂岩	褐灰	0.00~10.00m ・粗粒砂岩からなる。 ・0.00~0.30m 道路脇側溝の埋戻し土からなる。  ・3.75~4.35m 細礫を含む。	07/19 7.80m		2
4		暗灰				4				
6		暗褐灰				6				
10	16.14	10.00								10

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取	標尺 m	
				地層名	層相				試料名/ 採取深度		
	24.70	0.96		中位段 丘堆積層 (Mh)	砂	褐灰	0.00~0.96m ・淘汰の良い細粒砂からなる。 ・下位層とは傾斜約5°で接する。				
2				砂子又層下部層 (Si)	粗粒砂岩	暗褐灰	0.96~26.41m ・粗粒砂岩からなる。 ・所々礫を含む。 ・下位層と傾斜約20°で接する。		2		
4											4
6											6
8											8
10											10
12											12
14											14
16											16
18											18
20											20
22											22
24							砂子又層下部層 (Si)	粗粒砂岩	暗褐灰	0.96~26.41m ・粗粒砂岩からなる。 ・所々礫を含む。 ・下位層との傾斜約20°で接する。	
26									26		
28	-0.75	26.41			軽石混り 礫質砂岩		26.41~29.64m ・軽石を多く含む礫質砂岩からなる。 ・傾斜20°前後の葉理がみられる。 ・下位層と傾斜約10°で接する。		28		
30	-3.98	29.64			粗粒砂岩	黄灰	29.64~31.54m ・粗粒砂岩からなる。 ・軽石が散在し、所々細礫を含む。 ・傾斜15°前後の葉理がみられる。 ・下位層と傾斜約10°で接する。		30		

7/23  
18.60m



B-17孔 2/2 孔口標高 25.66m 鉛直 40m  
 X=105205.806 Y=43449.449

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
30	-3.98	29.64		粗粒砂岩		黄灰	29.64~31.54m ・粗粒砂岩からなる。 ・軽石が散在し、所々細礫を含む。 ・傾斜15°前後の葉理がみられる。 ・下位層と傾斜約10°で接する。			30
32	-5.88	31.54								細粒砂岩
34	-6.73	32.39		成層砂岩		暗緑灰	32.39~32.41m ・粗粒砂岩からなる。 ・下位の鷹架層との境界は、傾斜約12°の明瞭な不整合面である。			34
	-6.75	32.41				黄灰				32.41~40.00m ・塊状無層理な泥岩からなる。
36				泥岩		暗緑灰				38
38										鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)
40	-14.34	40.00								

B-19孔 孔口標高 25.35m 鉛直 10m  
 X=105196.828 Y=43467.976

標尺 m	標高 E.L. +m	深度 G.L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 測定 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
2	23.70	1.65		中位 堆積層 砂岩 (M1)	砂	褐灰	0.00~1.65m ・淘汰の良い中粒砂からなる。 ・0.00~0.65m 道路脇側溝の埋戻し土からなる。  1.65~10.00m ・粗粒砂岩からなる。 ・径~0.5cmの垂円礫を少量含む。			2
4				砂子又層下部層 (S1)	砂岩	暗緑灰				
6										6
8										8
10	15.35	10.00						07/23 7.05m		10

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m						
				地層 名	層相												
	21.31	2.75	~ ~	火山灰層 (M1)	ローム	黄褐	0.00~2.75m ・0.00~0.50m 表土からなる。 ・0.50~2.75m ロームからなる。										
	16.62	7.44	~ ~	中段段丘堆積層 (M2)	砂	灰黄					2.75~7.44m ・中粒砂からなる。						
10				六ヶ所層 (R)	砂	褐	7.44~15.92m ・淘汰の悪い粗粒砂からなる。				10						
20	8.14	15.92		砂子又層下部層 (S1)	砂岩	黄灰 と 灰	15.92~81.53m ・中粒~粗粒砂岩からなる。 ・21.60~25.00m 傾斜25°前後の葉理がみられる。 径0.3cm前後の軽石を含む。 ・26.95~28.35m 凝灰質シルト岩を挟む。 ・28.35~29.31m 軽石凝灰岩を挟む。 ・35.75~48.00m 塊状の中粒砂岩からなる。 径0.3~0.5cmのシルト岩礫を含む。	21.70m			20						
30																30	
40																	40
50																	50
60											60						
70											70						
80											80						
	-57.47	81.53		砂岩	砂岩		81.53~305.00m ・塊状無層理の泥岩からなる。 ・生痕化石がみられる。 ・81.53~82.80m 細粒~中粒砂岩からなる。下位とは、傾斜約30°で接する。										
	-58.74	82.80															
90				泥岩		暗灰					90						
100											100						



標 尺 m	標 高 E.L. +m	深 度 G.L. -m	柱 状 図	地 質		色 調	記 事	測 定 月 日 最 終 孔 内 水 位	試 料 採 取 試 料 名 / 採 取 深 度	標 尺 m
				地 層 名	層 相					
110							・ 106.45~116.00m 砂質泥岩からなる。			110
120							・ 113.20~113.90m ノジュールがみられる。			120
130										130
140							・ 139.70m付近 凝灰質である。傾斜約25°の葉理がみられる。			140
150										150
160										160
170										170
180										180
190							・ 184.14m付近 径1.0cmの軽石を含む。			190
200							・ 193.40~193.55m 径0.1~0.3cmのシルト岩礫を含む。			200
210							・ 200.55~200.59m 細粒砂岩を含む。			210
220							・ 217.68~217.85m 径0.1~0.5cmのシルト岩礫を含む。			220
230										230

鷹架層上部層泥岩層  
(Tams)

泥岩 暗灰

標 尺 m	標 高 E. L. +m	深 度 G. L. -m	柱 状 図	地 質		色 調	記 事	測 定 日 最 終 孔 内 水 位	試 料 採 取 試 料 名 / 採 取 深 度	標 尺 m
				地 層 名	層 相					
240				鷹架層上部層泥岩層 (Tams)	泥岩	暗灰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 262.90m付近 細粒砂岩の薄層を挟む。</li> <li>・ 266.50m 径0.8cmの安山岩礫を含む。</li> <li>・ 272.87m 二枚貝化石を含む。</li> <li>・ 284.85m 細粒砂岩の薄層を挟む。傾斜約20°の葉理がみられる</li> <li>・ 298.76~299.09m、300.02~300.72m 凝灰岩の薄層を挟む。</li> </ul>			240
250										
260										260
270										270
280										280
290										290
300										300



標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層 名	層 相						
17.32	1.03			灰山灰 層(1m)	ローム	黄褐	0.00~1.03m ・0.00~0.14m 表土からなる。 ・0.14~1.03m ロームからなる。	5.50m			
15.42	2.93		六ヶ所 層(R)	砂	黄灰						
11.19	7.16			砂	褐灰						
10							1.03~2.93m ・細粒~中粒砂からなる。 ・2.84~2.93m 径0.15~0.3cmの円礫が密集する。				
20							2.93~7.16m ・シルト分を多く含む中粒砂からなる。				
30							7.16~102.35m ・中粒~粗粒砂岩からなる。 ・15.49~16.02m 黄~淡黄色の軽石を多く含む。 ・16.02~18.16m 径5~15cmのシルト岩礫を含む。 ・23.76~25.89m 凝灰岩を挟む。				
40							・28.10~32.13m 黄灰色軽石を多く含む。				
50							・38.17~38.47m 凝灰岩を挟む。 ・38.47~39.27m 径1cm程度までの軽石を多く含む。				
60				砂子又層下部層 (S1)	砂岩	黄灰 暗灰	・48.70~50.00m 礫混り粗粒砂岩からなる。 ・50.00~51.22m 径0.1~0.6cmの淡黄灰色の軽石を含む。				
70											
80											
90							・86.20~91.12m 径4cmまでの垂円礫を含む。 ・92.59~92.80m 凝灰岩を挟む。				
100							・98.00~98.81m 凝灰質シルト岩を挟む。				

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	最終 孔内 水位	測定 月日	試料採取	標尺 m
				地層 名	層 相					試料名/ 採取深度	
	-84.00	102.52			砂岩		・ 98.81~101.29m 礫混り砂岩からなる。 ・ 102.00~102.35m 礫岩からなる。  102.35~117.73m ・ 細粒砂岩からなる。 ・ 傾斜20°~25°の葉理がみられる。  ・ 下位との境界は漸移である。				
110			鷹架層上部層 (T3fs)	細粒 砂岩	暗灰						
120	-99.38	117.73				泥岩	暗灰	117.73~200.00m ・ 泥岩からなる。 ・ 所々に砂岩及び凝灰岩の薄層を挟む。			
130			鷹架層上部層 泥岩層 (T3ms)								
140	-114.54	132.89			砂岩	暗灰 暗黒灰	・ 132.89~136.56m 細粒~中粒砂岩の薄層を挟む。				
150	-118.21	136.56					・ 159.40~159.72m 細粒砂岩を挟む。				
160				泥岩	暗灰						
170							・ 184.96~185.35m 細粒凝灰岩の薄層を挟む。				
180											
190							・ 196.66~196.88m 凝灰質細粒砂岩の薄層を挟む。				
200	-181.65	200.00									



No.2孔 1/2 孔口標高 17.85m 鉛直 215m  
 X=104998.44 Y= 44053.550

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	最終 孔内 水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m				
				地層 名	層相										
	16.22	1.63		盛土(礫混りシルト)	暗褐		0.00~1.63m ・礫混りシルトを主体とする盛土からなる。								
	14.99	2.86		ローム	黄褐			1.63~2.86m ・ロームからなる。							
	13.55	4.30		砂	褐~灰黒				2.86~4.30m ・細粒~粗粒砂からなる。						
10				砂子又層下部層 (S1)	砂岩	黄灰 ~ 暗灰	4.30~98.50m ・中粒~粗粒砂岩からなる。 ・4.30~8.96m 淡黄色の軽石を多く含む。 ・12.94~16.63m 凝灰岩を挟む。 ・18.84~21.69m 淡黄色の軽石を多く含む。  ・29.04~35.70m 凝灰岩・砂岩の互層からなる。  ・37.30~38.50m 礫混り砂岩からなる。 ・38.50~40.10m 灰白色の軽石を多く含む。 ・40.10~48.52m 礫混り砂岩からなる。	8.50m			10				
20															20
30															30
40															40
50															50
60															60
70															70
80															80
90															90
100	-80.65	98.50								砂岩	暗灰	・80.91~81.55m、83.30~84.00m 礫混り砂岩からなる。  ・94.43~94.60m 淡黄色の凝灰岩を挟む。  ・98.00~98.50m 礫岩からなる。			100

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
				鷹架層上部層細粒砂岩層 (T3fs)	砂岩	暗灰	98.50~136.00m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜5°~10°の葉理がみられる。  ・120.17~120.70m ノジュールがみられる。  ・136.00m 下位との境界は漸移である。			
	-118.15	136.00			泥岩	暗灰 暗緑灰	136.00~215.00m ・泥岩からなる。 ・一部に傾斜0°~5°程度の葉理がみられる。 ・所々に砂岩及び凝灰岩の薄層を挟む。			
	-134.47	152.32			砂岩	暗灰 暗黒灰	・152.32~155.51m 細粒~中粒砂岩を挟む。			
	-137.66	155.51		鷹架層上部層泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗灰	・175.00~175.45m ノジュールがみられる。 ・180.96~181.21m 灰色の凝灰岩の薄層を挟む。 ・184.49~184.69m 細粒砂岩の薄層を挟む。			
	-197.15	215.00								



標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定 月日	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m		
				地層名	層相							
	14.60	1.84	~	火山灰層 (Im)	ローム	褐	0.00~1.84m ・ロームからなる。					
	8.11	8.33	~	中位段 丘堆積層 (Mo)	砂	褐	1.84~7.22m ・細粒~粗粒砂からなる。					
10				砂子又層下部層 (Si)	砂岩	黄灰 暗灰	8.33~56.09m ・中粒~粗粒砂岩からなる。 ・8.33~12.55m 淡黄色の軽石を多く含む。 ・12.55~13.80m 凝灰岩を挟む。 ・13.80~17.50m 淡黄色の軽石を多く含む。	10.50m		10		
20										・24.05~25.04m 白色軽石を多く含む。 ・25.26~26.05m 凝灰岩を挟む。		20
30										・48.85~49.25m 礫混り砂岩からなる。		30
40										・55.29~56.09m 礫岩からなる。		40
50				鷹架層上部層細粒砂岩層 (T3fs)	砂岩	暗灰	56.09~117.50m ・細粒砂岩からなる。 ・傾斜5°~10°程度の葉理がみられる。		50			
60	39.65	56.09							・98.60~99.20m付近 ノジュールがみられる。		60	
70											70	
80									80			
90									90			
100									100			

標尺 m	標高 E. L. +m	深度 G. L. -m	柱状 図	地質		色調	記事	測定月日 最終孔内水位	試料採取 試料名/ 採取深度	標尺 m
				地層名	層相					
110				鷹架層上部層 細粒砂岩層 (T3fs)	砂岩	暗灰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 117.50m 下位との境界は漸移である。</li> <li>117.50~225.0m               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泥岩からなる。</li> <li>・ 傾斜10~15°程度の葉理がみられる。</li> <li>・ 所々に砂岩及び凝灰岩の薄層を挟む。</li> </ul> </li> <li>・ 131.58~135.22m 細粒~中粒砂岩を挟む。</li> <li>・ 155.68~160.33m 灰白色の軽石が散在する。</li> <li>・ 198.10~198.65m 凝灰質細粒砂岩の薄層を挟む。</li> <li>・ 207.27~207.49m 細粒砂岩の薄層を挟む。</li> </ul>			
120	-101.06	117.50			泥岩	暗灰				
130	-115.14	131.58			砂岩	灰暗灰				
140	-118.78	135.22								
150				鷹架層上部層 泥岩層 (T3ms)	泥岩	暗灰				
160										
170										
180										
190										
200										
210										
220	-208.56	225.00								